

もっと日本を。もっと世界へ。



平成30年度

國學院大學

オープンカレッジ

天皇、蒲生野に遊獵する時に、額田王の作る歌

あかねさす 紫草野行き 標野行き

野守は見ずや 君が袖振る

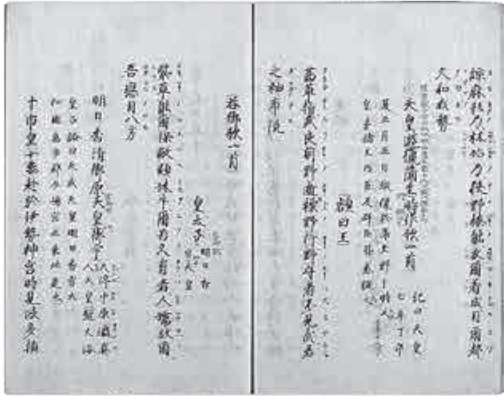
皇太子の答ふる御歌 明日香宮に天の下治めたまひし天皇、諡を天武天皇といふ

紫草の にはへる妹を 憎くあらば 人妻故に

我恋ひめやも

紀に曰く、「天皇の七年丁卯の夏五月五日、蒲生野に縦獵す。時に、大皇弟・諸王・内臣また群臣、皆悉従ふ」といふ

萬葉集 卷一 二十一



「萬葉集 卷一」

江戸時代前期写本 八雲軒本 (國學院大學図書館所蔵)

天皇遊二獺蒲生野一時、額田王作歌

あかねさす 武良前野逝 標野行

野守者不レ見哉 君之袖布流

皇太子答御歌 明日香宮御宇天皇、諡曰「天武天皇」

紫草能 尔保敝類妹乎 尔苦久有者

人孀故尔 吾恋目八方

紀曰、天皇七年丁卯夏五月五日、縦二獺於蒲生野。于レ時、大皇弟諸王内臣及群臣、皆悉従焉。

天皇が蒲生野で狩をなさった時に、額田王が作った歌 (あかねさす)紫草野を行き 標野を行つて 野守が見ているではありませんか あなたが袖をお振りになるのを

皇太子の答えのお歌 明日香宮の天皇、諡を天武天皇という

紫草のように におうあなたを 憎いと思つたら 人妻と知りながら 恋しく思ひましようか

日本書紀に「天智天皇の七年五月五日に、蒲生野で狩が催された。この時、皇太弟(大海人皇子)・諸皇族・内臣(藤原鎌足)および群臣がことごとくお供した」とある。

國學院大學 オープンカレッジへようこそ

國學院大學オープンカレッジは、本学の伝統と実績に基づく学問を、年齢・性別・学歴等を問わず、すべての方々に開放し、人生をより豊かな、充実したものにするための一助となることを願い、平成4年に7講座で産声をあげました。

その後多くの皆様に支えられ、昨年は53講座延べ約2,000名の方々にご受講頂きました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

27年目となる今年度も本学の得意分野である神道、文学、歴史、書道等の講座を中心とした55講座をご用意いたしました。渋谷キャンパスでは「グローバリズムとナショナリズムの国際情勢」、「篆刻〈初級〉－篆書・篆刻に親しむ－」、たまプラーザキャンパスでは「神道の歴史－京都の祭礼から読み解く－」、「『万葉集』の恋歌を楽しむ－大伴家持の青春時代－」、「健康と運動の心理学－こころの健康を保つコツ－」の講座を新たな講師を迎え開講いたします。また好評の「神道」、「古事記」、「万葉集」講座も継続いたしますので、ご期待ください。

今後も「國學院大學らしい講座」を追求し、ご受講の皆様の声を大切にしながら、オープンカレッジの更なる充実に努めて参ります。

受講者の皆様にとって本学のオープンカレッジが、豊かな生涯学習の場であると同時に、潤いのある日常生活の糧となりますことを、スタッフ一同心から願っております。

國學院大學エクステンションセンター

建学の精神

國學院大學設立の背景と経緯

明治維新当時、わが国を欧化万能の風潮が覆い、日本古来の思想・文物が顧みられない状態となった。しかし、そうした世風を憂慮し、維新の達成には国民道徳の確立をもって、国家独立の基礎とする必要があるという気運が起こった。

このような気運を背景として、本学の前身である皇典講究所が明治15(1882)年に現在の千代田区飯田橋に創立された。11月4日に行われたその開校式において、初代総裁の有栖川宮幟仁親王が述べられた告諭の中の「凡學問ノ道ハ本ヲ立ツルヨリ大ナルハ莫シ故ニ國體ヲ講明シテ以テ立國ノ基礎ヲ鞏クシ徳性ヲ涵養シテ以テ人生ノ本分ヲ盡スハ百世易フベカラザル典則ナリ」という主旨が本学建学の精神の基底を成す。明治23(1890)年7月、皇典講究所初代所長山田顯義伯爵の公表した「國學院設立趣意書」によって更に拡大・強調された。

この精神が今日まで継承され、國學院大學が神道精神に立脚した道義の大学として、輝かしい伝統と独自の学風を築き上げている。

全講座(55講座)先着順受付

「ハガキ」または「FAX」でお申し込みください。申込締切 3月23日(金)

本年度のみ、学部カリキュラム改訂による渋谷キャンパスの学部授業数増加に伴い、一部のオープンカレッジ開講曜時が変更となります。

ご迷惑をおかけしますが、ご理解ご了承くださいませよう、お願い申し上げます。



目次

ページ

國學院大學オープンカレッジのご案内4~5

◆渋谷キャンパス開講講座

N0	講 座 名	講 師	回数	時期	ページ
01	神道を知る講座14 -天皇の皇位継承と大嘗祭-	岡田 莊司	10	通年	6
02	『古事記』の神話を読む	谷口 雅博	10	通年	6
03	万葉集を読む -巻二挽歌を読み直す-	土佐 秀里	10	通年	7
04	万葉考古学17	杉山 林継	10	通年	7
05	大人のための万葉集 -伝説歌の世界-	城崎 陽子	5	後期	7
06	目で見て学ぶ『源氏物語』 -「若菜下」巻を読む②-	大津 直子	10	通年	8
07	能と文学13 -古典文学から能へ-	岩崎 雅彦	10	通年	8
08	短歌を読む 詠む -『万葉集』第13~14巻の鑑賞-	豊島 秀範	10	通年	8
09	『古今和歌集』を読む -巻五(秋下)・巻六(冬)の95首-	中村 幸弘	10	通年	9
10	文学の風景 -作家の出発期-	岡崎 直也	10	前期	9
11	中国の神話・伝説 -中国古代の人々の心-	松田 稔	10	後期	9
12	『論語』を読む -朱子の注釈・日本人の解釈-	石本 道明	10	通年	10
13	史料でたどる日本と東アジアの古代史6 -男と女の古代史-	佐藤 長門他	10	通年	10
14	折口信夫・釋迢空研究16 折口信夫『死者の書』を読む	小川 直之	10	前期	11
15	日向の神話と神楽(宮崎県との連携講座)	小川 直之他	10	後期	11
16	週末の『源氏物語』講座(夕顔篇3~若紫篇1)	大津 直子他	20	通年	12
17	最終版・風水思想と東アジア	渡邊 欣雄	10	通年	12
18	民俗学からみる日本の神々と祭り(前期)	新谷 尚紀	5	前期	13
19	民俗学からみる日本の神々と祭り(後期)	新谷 尚紀	5	後期	13
20	豊臣政権と五つの「家」	矢部健太郎	5	後期	13
21	歴史の捉え方 -人間こそが主人公-	松平 定知	10	通年	14
22	『平家物語』 -の谷合戦譚を読む	野中 哲照	10	通年	14
23	遊べる日本美術4 -日本美術にみる美人の系譜-	藤澤 紫	10	通年	15
24	華道に学ぶ ~一花一葉に心を洗う~	鳥居 茜月	10	通年	15
25	グローバリズムとナショナリズムの国際情勢	久保田るり子	10	通年	15
26	かなの鑑賞と実作 -重之集に学ぶ-	名児耶 明	10	前期	16
27	漢字(一)楷書・ペン習字〈初級・中級〉 -漢字の基礎・古典の臨書(1)-	小嶋 憲次	10	前期	16

28	漢字(二)楷書・ペン習字〈初級・中級〉－漢字の基礎・古典の臨書(2)－	小嶋 憲次	10	後期	… 16
29	漢字(三)楷書と草書〈初級・中級〉 関中本「真草千字文」を学ぶⅠ	筒井 茂徳	10	前期	… 17
30	漢字(四)楷書と草書〈初級・中級〉 関中本「真草千字文」を学ぶⅡ	筒井 茂徳	10	後期	… 17
31	漢字(五)行書〈初級・中級〉－王羲之「集字聖教序」を習う－	野村ひかり	10	前期	… 17
32	漢字(六)行書〈初級・中級〉－王羲之「喪乱帖」「孔侍中帖」を習う－	野村ひかり	10	後期	… 18
33	日本の漢字(一)行書・草書〈初級・中級〉－空海・最澄を習う－	石井 清和	10	前期	… 18
34	日本の漢字(二)行書・草書〈初級・中級〉－空海・最澄を習う－	石井 清和	10	後期	… 18
35	仮名(一)〈初級・中級〉－美しい仮名を書きたい人のために－	杉浦 妙子	10	前期	… 19
36	仮名(二)〈初級・中級〉－美しい仮名を書きたい人のために－	杉浦 妙子	10	後期	… 19
37	仮名(三)〈初級・中級〉 仮名書道の楽しみ－散らし書き－	橋本 貴朗	10	前期	… 19
38	仮名(四)〈中級〉－本阿弥切－	橋本 貴朗	10	後期	… 20
39	仮名(五)〈中級〉「高野切第三種」と同筆同系統古筆の研究	高城 弘一	10	前期	… 20
40	仮名(六)〈中級〉「関戸本古今和歌集」と同筆同系統古筆の研究	高城 弘一	10	後期	… 20
41	篆刻(一)〈初級〉－篆書・篆刻に親しむ－	田村南海子	10	前期	… 21
42	篆刻(二)〈初級〉－篆書・篆刻に親しむ－	田村南海子	10	後期	… 21

◆たまプラーザキャンパス開講講座

NO	講 座 名	講 師	回数	時期	ページ
43	神道の歴史－京都の祭礼から読み解く－	大東 敬明	10	通年	… 22
44	『古事記』下巻を読む－仁徳記－	渡邊 卓	10	通年	… 22
45	源氏物語講読－「霧標」「蓬生」の2帖を読む－	林田 孝和	10	通年	… 22
46	松尾芭蕉の紀行文を読む－『野ざらし紀行』－	中村 正明	10	通年	… 23
47	『承久記』を読む	野中 哲照	10	通年	… 23
48	目で見て学ぶ『源氏物語』－「帚木」巻を読む②－	大津 直子	15	通年	… 23
49	『万葉集』の恋歌を楽しむ－大伴家持の青春時代－	鈴木 道代	10	通年	… 24
50	俳句の楽しみ	波戸岡 旭	10	通年	… 24
51	漢詩の味わい－『おくの細道』のなかの漢詩の世界－	波戸岡 旭	10	通年	… 24
52	『大鏡』を読む－摂関政治と平安文学史上の有名人たち－	中村 幸弘	10	通年	… 25
53	芥川龍之介を読む	安西 晋二	10	通年	… 25
54	健康と運動の心理学－こころの健康を保つコツ－	伊藤 英之	5	前期	… 25

◆オープンカレッジ特別講座 渋谷キャンパス

NO	講 座 名	講 師	回数	時期	ページ
55	共催 一般財団法人冠婚葬祭文化振興財団・互助会保証株式会社・株式会社冠婚葬祭総合研究所 儀式創新－過去から学ぶ現代の潮流－	石井 研士他	5	通年	… 26
	● 國學院大學萬葉の花の会のご紹介				26
	● 公開講座のご紹介				27
	● 國學院大學博物館のご紹介				27
	● オープンカレッジ申込方法				28～29
	● 「受講申込書」記入例				30
	● 「受講申込書」(FAX用)				
	● 「受講申込書」(ハガキ)				

國學院大學オープンカレッジのご案内

入会登録

- オープンカレッジは会員制です。年齢・学歴等に関係なくどなたでも入会できます。
※但し、次の特別講座のみをご受講の方は入会の必要はありません。
「儀式創新 - 過去から学ぶ現代の潮流-」
- 入会金・更新料は受講料と共にお振り込みください。平成30年度にご希望の講座がない場合、入会・更新のみの受付けもいたします。(9月末迄)

会員証

- 会員証は4年間有効です(会員を継続するには更新の手続きが必要です)。
- 会員証は、他人に貸したり譲ったりすることはできません。
- 会員証は携帯してください。会員特典利用の際はご提示いただくことがあります。

会員特典

- 期間中はオープンカレッジのパンフレットを無料でお送りいたします。
- 図書館の閲覧利用ができます(当該年度受講される場合のみ利用可能、貸出はできません)。
写真を貼付した会員証と受講許可証を持参の上、図書館で所定の手続きを行ってください。
- エクステンション事業課主催各種講座の案内を無料でお送りいたします。一部受講料割引講座もあります。
- 生協で書籍・文具等が割引で購入できます。

受講料

- 受講料は各講座内容のページをご確認ください(全日程受講しない場合も同じ金額です)。
- 受講料・入会金等は、一括振込のみとし、分納はできません。
- テキスト代は受講料に含まれません。
- 平成30年度國學院大學の学部、大学院、または他大学等に在学の方、若木育成会会員の方は受講料が半額となります。科目等履修生は該当しません。(P 29をご参照ください)
- 地域連携協力に関する基本協定に基づき、渋谷区・横浜市青葉区在住の方は、受講料が半額となります。
(P 29をご参照ください)

講座

- 講座は全て1年または半年の完結型です。継続講座も毎年独立した講座内容になっています。
- テキスト等書籍の価格に変更がある場合はご了承ください。なお、講座初回時生協が教室で割引販売を行います。
- 受講者数が10人に満たない場合は講座を中止することがあります。その際お振り込みいただいた受講料は、本人名義の口座に返金させていただきます。
- 大学および講師の都合等により開講を中止することがあります。

休講

- 講師の急病、事故等、悪天候や災害、交通ストライキ等で休講する場合には、原則として補講を行います。
- 補講の日時・教員は、通常の講座とは異なる場合がありますので予めご了承ください。
- エクステンションセンターからご登録いただいた電話番号にご連絡することがあります。

単位・修了

- 特別講座「儀式創新 一過去から学ぶ現代の潮流」を除く各講座にはオープンカレッジ独自の単位を設けております。単位数については各講座内容のページをご参照ください。
- 原則として、担当講師が毎回出欠をとり、3分の2以上の出席(5回講座の場合3回、10回講座の場合7回、15回講座の場合10回、20回講座の場合14回以上)が単位取得の要件となります。エクステンションセンターへの講座欠席連絡は必要ありません。
- 取得した単位は累積され、32単位になった時点でオープンカレッジ修了となり、「國學院大學オープンカレッジ修了証」を授与いたします。なお、修了後も継続してご受講いただけます。

受講のキャンセル

- 受講申込後、やむを得ず受講を取り消す場合は、速やかにエクステンションセンターまでご連絡ください。
- 受講料等納付後、ご本人のご都合で受講をキャンセルする場合、納入された受講料等はお返しできませんので、予めご了承ください。
- 申込締切日以降でも、人数に余裕がある講座は、開講初日の10日前まで申し込み受けをいたします。
詳細はエクステンションセンターまでお問合せください。

注意事項

- 「受講申込書」にご記入いただいた住所等に変更があった場合は、速やかにご連絡ください。
- 大学構内は全面禁煙のため、指定場所以外での喫煙はできません。
- 駐車場がありませんので、自動車、バイク、自転車でのご来校はできません。
- 身の回りの品にご注意ください。特に貴重品は席を離れる際には必ず身に付けてください。
- 講師や他の受講者、または本学に対し迷惑となる行為があった場合は、受講をお断りすることがあります(教室からの退出やオープンカレッジ退会をしていただくことがあります)。

●紹介制度について

オープンカレッジ現会員の方が新規の受講者をご紹介いただき、紹介を受けた方が受講された場合は紹介して下さった会員の方に本学の図書カード(500円分)を差し上げます。

この機会にどうぞお知り合い、ご友人をご紹介ください。

オープンカレッジにかかわるお問合せ先

國學院大學エクステンションセンター

(受付時間 月～土曜日9時～17時 除く祝日・大学行事日)

〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28 電話 03-5466-0270 FAX 03-5466-0528

URL <http://www.kokugakuin.ac.jp> e-mail jigyoku@kokugakuin.ac.jp

個人情報の取り扱いについて

國學院大學では、「個人情報の保護に関する法律」を遵守し、個人情報の適正な取扱いに努めています。オープンカレッジ受講申し込みにあたって、お知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報は、國學院大學エクステンションセンター(エクステンション事業課)におきまして、①受講手続、②オープンカレッジ受講に関する管理、連絡および手続、③オープンカレッジ開催施設・設備利用に関する管理、連絡および手続、④受講者本人に送付する各種書類の発送およびその他の連絡、⑤当センターが行っている各種講座案内と、これに付随する事項を行うために利用します。

上記は、その一部の業務を國學院大學エクステンションセンターより当該業務の委託を受けた業者(以下、「受託業者」といいます)において行います。業務委託にあたり、委託業者に対して、受託した業務を遂行するために必要となる限度で、お知らせいただいた個人情報の全部または一部を提供することがあります。

國學院大學エクステンションセンター(エクステンション事業課)は、個人情報は原則として第三者に開示いたしません。ただし、法律上開示をすべき業務を負う場合や、受講者本人または第三者の生命/身体/財産その他の権利利益などを保護するために必要であると判断できる場合、その他緊急の必要があり個別の承諾を得ることができない場合には、例外的に本人または第三者の個人情報を開示することがあります。予めご了承ください。

01

神道を知る講座14 ー天皇の皇位継承と大嘗祭ー

水曜日

10:30~12:00

講師



國學院大學
教授・博士(歴史学)

おかだ しょうじ
岡田 莊司

専門分野 宮中祭祀儀礼・
古代中世神道史

講座内容

本学は創立以来、神道の学問研究と神職の養成につとめ、神道を広く国内外へ発信してきました。その成果は大学博物館の神道資料展示で公開されています。

神道・神社の歴史と天皇の歴史とは、相互に深い関係を保ってきました。神道と神社が古代から現代まで脈々と受け継がれてきた理由は、地域・氏族による神社祭祀を基本としながら、天皇祭祀がこれを含めて展開してきたことによります。

本年度は「天皇の皇位継承と大嘗祭」を取り上げます。平成の年号は本年度で終わり、来春には天皇譲位と新天皇の即位、剣璽承継の儀、そして即位の礼、来年11月には大嘗祭が斎行されることになっています。なぜ新天皇の即位まで、126代にわたり連綿と皇位継承されてきたのか。神道祭祀の根源ともいえる新嘗祭と大嘗祭の成立と展開、皇室の歴史と踐祚・即位の儀、三種の神器の由来など、天皇・神道・日本文化をつなげてきた皇位継承の儀式と祭祀に焦点をあてていきます。ことしは、「養老律令」撰定1300年に当たります。國學院猪熊本を用いて「養老神祇令」についても解説していきます。

昨年度まで13回継続してきた講座を基礎に、さらに発展させていく内容を企画しておりますが、はじめての受講者にも対応できるように準備しておりますので、初心者の方も、どうぞご遠慮なくご参加ください。今年度も希望者を対象に神社参拝を予定しています。

第1回	皇御孫命(スメミマノミコト)ー神話から歴史へー
第2回	三種の神器と剣璽の承継
第3回	天皇と律令ー養老律令撰定1300年ー
第4回	皇位継承と譲位の歴史
第5回	踐祚と即位儀式
第6回	宮中三殿と宮中祭祀の歴史
第7回	新嘗と大嘗祭の成立
第8回	大嘗祭の祭祀構成
第9回	大嘗祭と節会・芸能
第10回	新々・大嘗祭の本義

4月	18日
5月	9日、23日
6月	20日
7月	4日
10月	3日、17日、31日
11月	14日、28日

■単位数 2単位
■受講料 20,000円

締切日前に定員に達することがございます



資料を配付します

02

『古事記』の神話を読む

土曜日

10:30~12:00

講師



國學院大學
教授・博士(文学)

たにぐち まさひろ
谷口 雅博

専門分野 日本上代文学
(古事記・日本書紀・
万葉集・風土記)

講座内容

本講座では、『古事記』上巻の神話を読みます。

本年は、葦原中国平定の神話を読みます。大国主神による国作りが完了するタイミングを見計らったように、天上界=高天原の司令神・天照大御神は、御子である天忍穗耳命に葦原中国への降臨・統治を命じます。しかし、天忍穗耳命は天浮橋で地上の様子を窺ったところ、たいそう騒がしいので、高天原に戻ってその様子を天照大御神に伝えました。それから後、葦原中国平定のための神々の派遣が始まります。大国主神に寝返ってしまった最初の派遣神・天菩比神、自らが地上の支配者になろうとして墓穴を掘った二番目の派遣神・天若日子、圧倒的な力で相手をねじ伏せ、平定を成し遂げた三番目の派遣神・建御雷神、そしてそれを迎える大国主神とその子神の姿が、それぞれ個性豊かに描かれています。

地上支配の正統性を主張する天神側と、国譲りを了承しつつも自らの安住の地を求めた大国主神側との様々なやりとりに入められた意味・意図を考えながら読んでいきたいと思ひます。また、本年の対象箇所は、出雲を舞台とする神話の最後になりますので、『古事記』神話における出雲の位置付けについても考えてみたいと思ひます。

4月	14日、28日
5月	12日
6月	2日、16日
7月	7日
9月	29日
10月	13日、27日
11月	10日

■単位数 2単位
■受講料 20,000円



『新版 古事記(現代語訳付き)』 中村啓信訳注 角川ソフィア文庫 1,160円(本体価格)

03

万葉集を読む ー巻二挽歌を読み直すー

木曜日

10:30~12:00

講師



國學院大學
教授

とさ ひでさと
土佐 秀里

専門分野 上代文学

講座内容

本年度は万葉集巻二の「挽歌」を読んでいきます。挽歌は人の死を主題とするものから、暗いとか、縁起が悪いといった印象があるかもしれませんが、しかし、万葉集において最も文学的にすぐれた歌は、挽歌に集中しています。とくに巻二挽歌は、万葉歌人柿本人麻呂の代表作・傑作が目白押しです。講座名を「人麻呂を読む」としてもよいくらいの箇所です。それだけに読み進めるのに時間がかかることにもなりますが、丁寧に読む価値がある作品ばかりがまとまって出てきますので、かなり密度の濃い講座になるのではないかと思います。

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| 第1回 147~155 天智挽歌群 | 第6回 199 高市皇子挽歌 |
| 第2回 156~166 十市挽歌・天武挽歌・大津挽歌 | 第7回 199~206 高市挽歌・但馬挽歌・弓削挽歌 |
| 第3回 167 日並皇子挽歌 | 第8回 207~216 泣血哀慟歌 |
| 第4回 168~193 舎人等働傷作歌 | 第9回 217~222 吉備津采女挽歌・石中死人歌 |
| 第5回 194~198 川島皇子挽歌・明日香皇女挽歌 | 第10回 223~234 石見臨死歌・志貴皇子挽歌 |

4月	19日
5月	10日、24日
6月	21日
7月	5日
9月	27日
10月	11日、25日
11月	8日、22日

■単位数 2単位
■受講料 20,000円



テキスト 「補訂版 萬葉集本文篇」 佐竹昭広・木下正俊・小島憲之著 塙書房 2,100円(本体価格)

04

万葉考古学17

水曜日

12:50~14:20

講師



國學院大學
名誉教授・博士(歴史学)

すぎやま しげつぐ
杉山 林継

専門分野 考古学・神道学・
祭祀考古学

講座内容

万葉集4500首の歌には飛鳥奈良時代を中心とした、天皇から防人・農民に至るまでの人々の心が歌われている。そこには手に触れたもの、目にした情景がある。古代の人々の心を動かしたこれらの景色・環境や文物は、記紀等の数少ない文献との対比ばかりではなく、近年の木簡資料を始め考古学の成果を利用して復原しなければならない。逆に考古学にとっても遺跡遺物を解釈するとき、この4500首は宝庫である。遺跡遺物を有機的に見る目をこれらの歌から学ぶことが必要と言えよう。この万葉集の時代は大陸から新しい文化を大規模に取り入れた時代でもあり、それ以前の固有文化とのせめぎあいの時とも言える。

平成13年度に巻1巻頭の雄略天皇の歌からはじめて、平成23年度第10回4516家持の因幡国府での歌まで100回100テーマで話してきた。24年度以降、前記100回のうちからと、新しいものも入れて話している。今年度は菰、亀卜、便所、玉帚、三輪山、須恵の珠名、駅舎などを話したい。

歌の心を知るためにも考古学からのアプローチをお勧めする。

4月	18日
5月	9日、23日
6月	6日、27日
7月	11日
10月	3日、24日
11月	7日、28日

■単位数 2単位
■受講料 20,000円



資料を配付します

05

大人のための万葉集 ー伝説歌の世界ー

木曜日

18:30~20:00

講師



獨協大学
特任教授

しるさき ようこ
城崎 陽子

専門分野 古代文学・
近世思想史

講座内容

『万葉集』には「伝説歌」と総称される歌があります。中大兄皇子の三山の歌など大和三山の妻争い伝説に寄せて詠われた歌や、山上憶良が取り上げた神功皇后の鎮懐石伝説に関わる歌、そして、伝説歌人とも称される高橋虫麻呂が取りあげた伝説の乙女を詠う歌など、それぞれの風土のなかで地名や場所にまつわる伝説を背景に詠われた歌があります。今期はこうした「伝説歌」を中心に取りあげ、当時の人々がこうした歌をどのように伝え、楽しんだのかを考えます。

- | |
|--------------|
| 第1回 妻争い伝説 |
| 第2回 神功皇后伝説 |
| 第3回 松浦佐用姫伝説 |
| 第4回 竹取翁の伝説 |
| 第5回 水江浦島子の伝説 |

10月	4日、18日
11月	8日、22日
12月	6日

■単位数 1単位
■受講料 10,000円



資料を配付します

06

目で見て学ぶ『源氏物語』 —「若菜下」巻を読む②—

金曜日
12:50~14:20

講師



國學院大學
助教・博士(文学)
おおつ なおこ
大津 直子

専門分野 中古文学

講座内容

昨年度に引き続き、「若菜下」巻を講読いたします。昨年度は、いよいよ深まる恋慕の情から柏木が女三の宮の猫を手に入れる場面、真木柱と壺宮の結婚、冷泉帝の譲位と、光源氏の住吉参詣の場面を読みました。本年度は、善美を尽くした六条院の女樂、紫の上の発病へと読み進めます。その先には柏木と女三の宮との密通という大きな展開が待ち受けています。

千年の時間が隔たった平安朝文化は、現代人にとっては異文化であると言って良いほど馴染みがありません。そのため、本講座では貴族たちの生活世界をイメージしていただけるように画像資料を配布いたします。受講者の皆様が、光源氏の暮らした二条院や、藤壺の過ごした宮中を思い描きながら原文を味わっていただけるように努めます。

初回は、「若菜下」巻序盤のあらすじのふりかえりや、物語全体の構造についてお話することから始めます。非常に読み応えのある巻ですので、時折これまでの物語を振り返りながら、作中人物の心の深奥へと迫ってゆきましょう。新規の方も、継続の方もお待ちしております。

4月	20日
5月	18日
6月	15日、29日
7月	6日
9月	21日
10月	5日、19日
11月	16日
12月	14日

■単位数 2単位
■受講料 20,000円

テキスト 資料を配付します

07

能と文学13 —古典文学から能へ—

木曜日
14:30~16:00

講師



國學院大學
兼任講師・博士(文学)
いわさき まさひこ
岩崎 雅彦

専門分野 能・狂言

講座内容

室町時代に大成された我が国最古の演劇である能は、『源氏物語』『平家物語』など、多くの古典文学を素材として作られている。本講座では、昨年度に続き、能の作品と、その素材となった文学作品を合わせて読んで行く。両者を読み比べることにより、能の作者たちが原典をどう解釈し、演劇としてどう脚色しているかを考えてみたい。各回の内容は以下の通り。

- | | |
|-----------------|---------------|
| 第1回 能「東北」 | 第6回 能「卒都婆小町」① |
| 第2回 能「絵馬」 | 第7回 能「卒都婆小町」② |
| 第3回 『古事記』『日本書紀』 | 第8回 能「皇帝」 |
| 第4回 能「敦盛」 | 第9回 能「錦木」 |
| 第5回 『平家物語』 | 第10回 能「巻絹」 |

なお、希望者を対象に、能・狂言の鑑賞を予定している。

4月	26日
5月	10日、24日
6月	7日、21日
9月	27日
10月	11日、25日
11月	8日、22日

■単位数 2単位
■受講料 20,000円

テキスト 資料を配付します

08

短歌を読む 詠む —『万葉集』第13~14巻の鑑賞—

木曜日
14:30~16:00

講師



國學院大學
元教授・博士(文学)
とよしま ひでのり
豊島 秀範

専門分野 平安朝文学・中世王朝文学

講座内容

①[短歌を読む]では、今年度は『万葉集』第13~14巻を取り上げます。6年間を要して釈道空(折口信夫)の六冊の歌集を読み終え、『万葉集』に挑戦して7年目を迎えます。1200年以上もの時を隔てた最古の和歌表現が、現在の我々の心にどのような響くのか、作歌の意図はどこにあるのか、などについて率直に話し合うことで、[短歌を詠む]へとつなげていきたいと思います。

②[短歌を詠む]においては、今年度も、毎回3首の短歌を提出し、各自が良いと思う歌を選び、鑑賞し合うことで、歌を作る力を養うことを目指します。そして、年度末には、過去12年間と同じく、1人30首ずつ詠んだ作品を、1冊の作品集(第13冊目)としてまとめる予定です。

これまでに体験したさまざまな事柄を思い起こし、短歌という形を通して、大切な思い出を表現し、自分自身の作品世界を残していきましょう。短歌を作るのは初めてという方も大歓迎です。作歌経験のある人は、さらなる境地へと挑戦して下さい。

4月	26日
5月	10日、24日
6月	7日、21日
9月	27日
10月	11日、25日
11月	8日、22日

■単位数 2単位
■受講料 20,000円

テキスト 『万葉集(下)』 桜井満訳注 旺文社(全訳古典撰集) 2,500円(本体価格)

09

『古今和歌集』を読む ー巻五(秋下)・巻六(冬)の95首ー

金曜日

12:50~14:20

講師



國學院大學栃木短期大学教授(学長)・
國學院大學名誉教授・文学博士
なかむら ゆきひろ

中村 幸弘

専門分野 日本語学

講座内容

和歌も現代語訳付きのテキストが多く見られる時代になりました。ただ、余情まで読み取って訳出に折り込み、深層を掘り下げすぎたりするものもあって、一首の表現を理解しにくくしているものもあります。あらかじめ修辭を確かめ、句切れを明らかにして構文の整理を行うと、表現の類型が見えてきます。律文ですから無理な表現もありますが、それらの多くは、語法のうえで慣用連語化している語句と捉えられます。文法用語を用いることなく、文法的に正しく読んでまいります。

- 第1・2・3・4回 249番歌から299番歌まで
- 第5回 『古今和歌集』の紀友則歌
- 第6・7・8・9回 300番歌から342番歌まで
- 第10回 『古今和歌集』詠み人知らず歌と『伊勢物語』『大和物語』

4月	13日、27日
5月	11日、25日
6月	8日、22日
9月	28日
10月	12日、26日
11月	9日

■単位数 2単位
■受講料 20,000円

テキスト

読解の手引きメモを書き込んだ手造り資料をコピーして配付します。

参考書

新編日本古典文学全集(11)『古今和歌集』小沢正夫・松田成穂 校注・訳 小学館 4,457円(本体価格)
ちくま学芸文庫『古今和歌集』小町谷照彦 訳注 筑摩書房 1,500円(本体価格)

10

文学の風景 ー作家の出発期ー

土曜日

10:30~12:00

講師



國學院大學
兼任講師

おかざき なおや
岡崎 直也

専門分野 近・現代文学

講座内容

「作家は処女作に向って成熟して行くものだ」とは、評論家・亀井勝一郎の言葉ですが、作家の出発期の作品は、固有の美意識や世界観ばかりか、その後の作風の展開や変遷、そして成熟までの全てを予見させるものを既に孕んでいます。今年度は、数々の名作を残した作家たちの出発期の、粗削りなところもあるものの、みずみずしく可能性に満ちた作品をじっくりと読み味わいながら、受講の皆さんとご一緒に、十人の作家の誕生のドラマに立ち会ってみたいと思います。

- 第1回 樋口一葉「闇 桜」
- 第2回 谷崎潤一郎「刺 青」
- 第3回 志賀直哉「清兵衛と瓢箪」
- 第4回 芥川龍之介「鼻」
- 第5回 菊池 寛「父帰る」
- 第6回 横光利一「蠅」
- 第7回 川端康成「葬式の名人」
- 第8回 堀 辰雄「聖家族」
- 第9回 井上 靖「猟 銃」
- 第10回 吉行淳之介「驟 雨」

4月	21日、28日
5月	12日、19日、26日
6月	2日、9日、16日 23日、30日

■単位数 2単位
■受講料 20,000円

テキスト

必要な資料はコピーして受講者にお渡しいたします。ただし、対象とする作品は変更することもありますので、あらかじめご了承ください。

11

中国の神話・伝説 ー中国古代の人々の心ー

木曜日

12:50~14:20

講師



國學院大學
元教授・博士(文学)

まつだ みつひろ
松田 稔

専門分野 中国古典文学

講座内容

ー昨年・昨年は、過去にこの講座で取り上げた中国神話を、新しい内容も補って、中国の神話の特色を示す文章を漢文で読みました。

ー昨年には、神話の変形・魂の行方・転生などから、人間についての古代の人々の素朴な思いを読み、昨年は、太陽・月・星・天などの記載から、自然・天体に対する古代の人々の心を知ろうと試みました。

本年は、古代の人々の心と大きく関わる神々の伝承や伝説的な帝王の記載を読み、人々の願いや祈りの心を知りたいと思います。

中国の神話的伝承は、歴史書や思想の書などに引用されていて、体系的ではありません。従って断片的であり、また歴史事実のように記されますが、素朴な古代の人々の願いや思いが読みとれるものであります。

それらの伝承は現代の私どもにも共感でき、心和ませてくれるものが多くあります。日々の忙しい生活から少し離れて古代の人々の心に触れ、現代生活を見直してみたいと思います。

9月	27日
10月	4日、11日、18日、 25日
11月	8日、15日、22日、 29日
12月	6日

■単位数 2単位
■受講料 20,000円

テキスト

資料を配付します

12

『論語』を読む - 朱子の注釈・日本人の解釈 -

火曜日
10:30~12:00

講師



國學院大學
教授
いしもと みちあき
石本 道明

専門分野
中国古典文学

講座内容

現代の我々は「本当に今のままでいいのだろうか」と、立ち止まらせられることが多いように感じます。もう一度原点に立ち戻って考えたいと思う時に、『論語』はその示唆を与えてくれる存在です。

今から約2500年ほど前、孔子は門人たちに数々の言葉を遺しました。その言行は、現代の我々に何を語りかけるのでしょうか。日本でも小学生から社会人に至るまで、なぜ『論語』は教えられ、読み継がれようとするのでしょうか。そのヒントは、800年ほど前の南宋の時代、哲学者と評される朱子が、ひとつひとつの章句を読み解いた末に指摘した「日用」にあるのではないのでしょうか。

本講座では、人としてあるべき生活の中で活かすその「日用」を視座として、まずは精確を期し、朱子の解釈に寄り添って《『論語』を読む》ことにしたいと思います。加えて、その解釈に猛反発した、江戸時代の荻生徂徠『論語徴』を紹介し、解釈の多様性を考えます。

『論語』は各章句が独立し、どこから読み始めてもよい構成です。新たな方も気づきはありません。今期は子罕第9篇・通番228「法語の言は・・・」から始めます。

4月	10日、24日
5月	8日、22日
6月	5日、19日
10月	2日、16日、30日
11月	13日

■単位数 2単位
■受講料 20,000円

テキスト 『孔子全集』巻5・論語5 吹野安・石本道明共著 明德出版社 2,500円(本体価格)

13

史料でたどる日本と東アジアの古代史6 - 男と女の古代史 -

水曜日
10:30~12:00

コーディネーター



國學院大學
教授・博士(歴史学)
さとう ながと
佐藤 長門

専門分野
日本古代史・古代王権・
国家の権力構造論

講座内容

國學院大學は、創設当初から日本の古典研究を通して人材育成をめざしてきた教育・研究機関であり、史学科も史料にもとづいた実証的な歴史研究を標榜してきました。本講座もその伝統に違わず、史資料に即して古代の日本と東アジアの古代史を考えてきました。過去には権力の正当性、中央と辺境、政治と外交、王権と氏族、象徴としての権力などについて検討してきましたが、本年度はその6回目として、古代史上の男女がどのような関係性を有していたのかに焦点をあて、古代の日本と東アジア世界を考察してみたいと思います。日本古代史のみならず、北東アジア古代史の最新の研究成果にもふられる絶好の機会ですので、ぜひ大勢の方々の受講を期待しています。

第1回	蘇我大臣家と蘇我倉家 - 外戚政策の成功と失敗 -	國學院大學教授	佐藤 長門
第2回	令制后妃制の変遷 - 宮子・光明子・井上・乙牟漏 -	國學院大學教授	佐藤 長門
第3回	王統迭立と平安前期の後妃制	國學院大學教授	佐藤 長門
第4回	中国古代の皇后と皇太子	國學院大學教授	金子 修一
第5回	則天武后と韋皇后	國學院大學教授	金子 修一
第6回	薬師寺建立からみる天武・持統天皇	國學院大學准教授	青木 敬
第7回	平城宮西宮と称徳天皇・道鏡	國學院大學准教授	青木 敬
第8回	新羅の三女帝 - 善徳・真徳・真聖王の登場 -	國學院大學准教授	山崎 雅稔
第9回	古代の神・仏への祈りと女と男 - 仏教説話を讀む -	國學院大學准教授	山崎 雅稔
第10回	古代日本の聖性・支配とジェンダー - 西洋古代・中世との比較から -	國學院大學准教授	山崎 雅稔

4月	25日
5月	16日、30日
6月	13日、27日
10月	10日、24日
11月	21日
12月	5日、19日

■単位数 2単位
■受講料 20,000円

テキスト 資料を配付します

14

折口信夫・釋迢空研究16 折口信夫『死者の書』を読む

講師



國學院大學
教授・博士(民俗学)
おがわ なおゆき
小川 直之

専門分野 民俗学

講座内容

折口信夫(明治20年2月11日-昭和28年9月3日)は、日本文化の構成原理や特質について、いくつもの理論を提示しています。「折口学」とも総称されるその学問は、文学、民俗学、芸能史、神道学などいくつもの分野にわたっています。

折口が提示した文化理論の、たとえば「まればと」論は日本人の心意の深層にある神観念や他界観、さらには文学や芸能の発生にも及んでいます。また折口の鎮魂論は、よく知られた伴信友の理論とは異なる独自のものです。こうした諸理論や折口の思想は、没後65年が経った現在でも、民俗学や文学、宗教学という折口の専門分野だけではなく、政治史や思想史など多くの分野からも関心が寄せられています。

講座では折口の著作を取り上げ、その文意を理解し、説かれている理論を読み解いてきましたが、今回は小説『死者の書』の全文を読み直すことに挑戦します。時間的に可能でしたら「山越しの阿弥陀像の画因」も読むことにします。1回2コマずつ、全10コマを開講します。

第1回	『死者の書』を読む①
第2回	『死者の書』を読む②
第3回	『死者の書』を読む③
第4回	『死者の書』を読む④
第5回	『死者の書』を読む⑤

※この講座とは別に、9月2日・3日に折口の墓所である石川県羽咋市での折口信夫・春洋年祭(2泊3日)への参加者を募ります。

テキスト 『死者の書』 角川ソフィア文庫 920円(本体価格)

土曜日

①12:50~14:20

②14:30~16:00

4月	21日
5月	12日、26日
6月	9日、23日

■単位数 2単位
■受講料 20,000円

15

日向の神話と神楽 (宮崎県との連携講座)

コーディネーター



國學院大學
教授・博士(民俗学)
おがわ なおゆき
小川 直之

専門分野 民俗学

講座内容

日本神話の「ふるさと」ともいえる日向(ひむか・宮崎県)を舞台とする古代神話と、その一部を表現している神楽を取り上げ、日本文化の姿を読み解いていきます。

日本の古代神話には、アマテラスを中心とするスサノヲとの争いの神話、岩屋籠もりと岩屋戸開きの神話、ニニギノミコトを中心とする天孫降臨神話などがあります。こうした古代神話の舞台が日向です。講座では『古事記』や『日本書紀』に記された日向を舞台とする神話を取り上げ、「日向の神話学」と宮崎県内に伝承されている神事芸能の「神楽」の特色や歴史を講じます。

「日向の神話学」では、『古事記』『日本書紀』のテキストを読み解くとともに、日向の神話を世界各地の神話と比較してみます。

神楽は、宮崎県では200を越える地区で伝えられ、なかでも国の重要無形民俗文化財にも指定されている高千穂神楽、椎葉神楽、銀鏡神楽、高原の神舞などはよく知られています。こうした神楽を映像も交えてみていきます。講座は、5人の講師が各回とも2コマずつ行います。

平成30年度もこの講座の開講期間中に「みやざきの神楽東京公演」が行われます。講座受講者には、この神楽公演の案内もします。

第1回	神楽にみる天孫降臨神話	國學院大學教授 小川 直之
第2回	『日本書紀』にみる海幸山幸の物語	宮崎県立看護大学教授 大館 真晴
第3回	「銀鏡神楽」を知る	宮崎民俗学会副会長 前田 博仁
第4回	『古事記』の海幸山幸神話	國學院大學教授 谷口 雅博
第5回	日向神話の世界	國學院大學教授 平藤 喜久子

テキスト 資料を配付します。宮崎の神楽については、ガイドブックを配付します

土曜日

①12:50~14:20

②14:30~16:00

9月	29日
10月	13日、20日
11月	10日、24日

■単位数 2単位
■受講料 20,000円

16

週末の『源氏物語』講座(夕顔篇3～若紫篇1)

土曜日
12:50～14:20

コーディネーター



國學院大學
助教・博士(文学)
おおつ なおこ
大津 直子

専門分野 中古文学

講座内容

昨年度に引き続き、「夕顔」巻から「若紫」巻にかけて講読をいたします。昨年度は、光源氏が、親友頭中将のかつての愛人ではないかと薄々勘づきながらも夕顔に耽溺してゆく場面を読みました。巻もいよいよクライマックスに差し掛かり、ついに夕顔はなにがしの院で絶命することになります。初回は、「夕顔」巻序盤・中盤のあらすじのふりかえりや、物語全体の構造についてお話しすることから始めます。そして、本年度の後半は「若紫」巻へと入ります。

千年の時間が隔たった平安朝文化は、現代人にとっては異文化であると言って良いほど馴染みがありません。そのため、本講座では貴族たちの生活世界をイメージしていただけるように画像資料を配布いたします。受講者の皆様が、光源氏の暮らした二条院や、藤壺の過ごした宮中を思い描きながら原文を味わっていただけるように努めます。

古来名場面と名高い若紫の登場は、テーマ別講義と組み合わせまして、皆様をより深い読みの世界へとご案内いたします。新規の方も、継続の方もお待ちしております。

第1回	講読【夕顔】	「夕顔」巻への誘い	國學院大學助教	大津 直子
第2回	講読【夕顔】	夕顔、絶命する	國學院大學助教	大津 直子
第3回	講読【夕顔】	夕顔の遺骸を東山に送る	國學院大學助教	大津 直子
第4回	講読【夕顔】	光源氏、二条院に帰邸する	國學院大學助教	大津 直子
第5回	講読【夕顔】	光源氏、東山に赴く①	國學院大學助教	大津 直子
第6回	講読【夕顔】	光源氏、東山に赴く②	國學院大學助教	大津 直子
第7回	講読【夕顔】	光源氏、東山より帰邸する	國學院大學助教	大津 直子
第8回	講読【夕顔】	光源氏、夕顔の素性を聞く①	國學院大學助教	大津 直子
第9回	講読【夕顔】	光源氏、夕顔の素性を聞く②	國學院大學助教	大津 直子
第10回	講読【夕顔】	光源氏、空蟬らと贈答する	國學院大學助教	大津 直子
第11回	講読【夕顔】	中の品の女たちのその後	國學院大學助教	大津 直子
第12回	講読【若紫】	光源氏、北山へ赴く	國學院大學助教	大津 直子
第13回	テーマ別講義	北山という時空	國學院大學兼任講師	春日 美穂
第14回	講読【若紫】	良清、明石父娘の話をする	國學院大學助教	大津 直子
第15回	テーマ別講義	明石物語の始発	國學院大學栃木短期大学准教授	津島 昭宏
第16回	講読【若紫】	若紫の登場①	國學院大學助教	大津 直子
第17回	テーマ別講義	若紫の造型	國學院大學兼任講師	太田 敦子
第18回	講読【若紫】	若紫の登場②	國學院大學助教	大津 直子
第19回	テーマ別講義	姫君の装い	國學院大學兼任講師	畠山大二郎
第20回	講読【若紫】	光源氏、若紫を所望する	國學院大學助教	大津 直子

4月	21日、28日
5月	12日、19日
6月	9日、16日、23日、30日
7月	7日、14日
9月	22日、29日
10月	6日、13日、20日、27日
11月	10日、17日、24日
12月	8日

■単位数 4単位
■受講料 40,000円

テキスト 資料を配付します

17

最終版・風水思想と東アジア

水曜日
12:50～14:20

講師



國學院大學
元教授・博士(社会人類学)
わたなべ よしお
渡邊 欣雄

専門分野 文化(社会)人類学・沖縄民俗学・文化地理学・東アジア文化研究

講座内容

2年にわたり、東アジア一帯に広く普及した風水思想の歴史・文化について紹介してきました。今年度は、その最終の講義として、下記のようなお話しをしたいと思います。そもそも「風水思想」という環境アセスメントの知識なくしては、巨大な都市の計画、住宅の配置や間取り、墓地の立地や形状など、東アジア各地に伝えられて来ませんでした。今年度は、このような「風水思想の発見」に至った世界的な研究の歴史、風水研究によってわかった風水判断の思想的特徴、類似する欧米由来のフィジオノミー(観相学)との異同等、グローバルな視点で世界と比較しながら改めて風水思想の特徴を紹介したいと思います。今年度は初聴講の方のために若干これまでと同じ内容を紹介しますが、多くは下記のように初公開の内容です。なお課外授業になりますが、風水環境の実際を知るために、希望者を募って高尾の天皇陵を見学する予定です。

[資]…資料解説、[映]…PPT解説。

第1回	風水思想とは何か [資]	第6回	都城風水と住宅風水 [映・資]
第2回	風水の世界的な研究史 [資]	第7回	都城・住宅の殺気除け [映]
第3回	東洋思想としての風水の理解 [資]	第8回	風水師と風水書 [映・資]
第4回	風水思想とヨーロッパ観相学 [資]	第9回	東アジアの風水意識 [映・資]
第5回	墓地風水と天皇陵 [映・資]	第10回	生活知識としての風水 [映・資]

4月	18日
5月	9日、23日
6月	6日、20日
10月	3日、17日、31日
11月	14日、28日

■単位数 2単位
■受講料 20,000円

テキスト 資料を配付します

参考書 『風水一気の景観地理学一』 渡邊欣雄著
人文書院
2,400円(本体価格)

18

民俗学からみる日本の神々と祭り(前期)

水曜日

14:30~16:00

講師



國學院大學
教授・博士(社会学)
しんたに たかのり
新谷 尚紀

専門分野 民俗学

講座内容

國學院大學は日本民俗学を創始した柳田國男とその学問をよく理解し協力して本学に民俗学の講座を開設した折口信夫という二人の巨人が教授を勤めた大学です。その二人がもっとも大きな研究関心を抱いたのは日本の神々と祭りについてでした。そんな偉大な先人には遠く及ぶべくもありませんが、その民俗学の観点から今回は、日本の神社祭祀の中心である伊勢神宮と出雲大社の創建と祭祀という問題について考えてみたいと思います。

- 第1回 神宮創祀の諸学説と基本史料
- 第2回 日本書紀の神話と歴史
- 第3回 伊勢神宮と持統天皇
- 第4回 伊勢と出雲の対応相関
- 第5回 出雲世界の歴史と伝承

4月	18日
5月	9日、23日
6月	20日
7月	4日

■単位数 1単位
■受講料 10,000円
※前期のみ、後期のみ受講も可能です。



テキスト 『伊勢神宮と出雲大社－「日本」と「天皇」の誕生－』 講談社選書メチエ 1,700円(本体価格)

19

民俗学からみる日本の神々と祭り(後期)

水曜日

14:30~16:00

講師



國學院大學
教授・博士(社会学)
しんたに たかのり
新谷 尚紀

専門分野 民俗学

講座内容

國學院大學は日本民俗学を創始した柳田國男とその学問をよく理解し協力して本学に民俗学の講座を開設した折口信夫という二人の巨人が教授を勤めた大学です。その二人がもっとも大きな研究関心を抱いたのは日本の神々と祭りについてでした。そんな偉大な先人には遠く及ぶべくもありませんが、その民俗学の観点から今回は、日本の神社祭祀の中心である伊勢神宮と出雲大社の創建と祭祀という問題について考えてみたいと思います。

- 第1回 伊勢神宮と出雲大社
- 第2回 出雲大社の創建
- 第3回 出雲の地位の変化
- 第4回 天皇と鎮魂祭
- 第5回 「日本」「天皇」誕生の三段階

10月	3日、17日、31日
11月	14日、28日

■単位数 1単位
■受講料 10,000円
※前期のみ、後期のみ受講も可能です。



テキスト 『伊勢神宮と出雲大社－「日本」と「天皇」の誕生－』 講談社選書メチエ 1,700円(本体価格)

20

豊臣政権と五つの「家」

月曜日

12:50~14:20

講師



國學院大學
教授・博士(歴史学)
やべ けんたろう
矢部 健太郎

専門分野 日本中世史

講座内容

貧しい身から出世階段を駆け上った秀吉は、なぜ武家閥閥となる道を選んだのか。従来、秀吉個人に注目されることの多かった豊臣政権の構造や政策について、「家」という視点から考察することが本講座の目的である。同時代の史料を丁寧に読解し、史料の並べ方を工夫することにより、通説とは少し異なる豊臣期の人々の生きざまを実証的に描き出したいと思う。

- 第1回 羽柴家－秀長・秀次と秀家－
- 第2回 織田家－信雄と秀信－
- 第3回 上杉家－景勝と直江兼統－
- 第4回 徳川家－家康と秀忠－
- 第5回 毛利家－輝元と小早川・吉川家－

10月	1日、15日、29日
11月	12日、26日

■単位数 1単位
■受講料 10,000円



テキスト 資料を配付します



『関白秀次の切腹』 矢部健太郎著 KADOKAWA 1,000円(本体価格)
『関ヶ原合戦と石田三成』 矢部健太郎著 吉川弘文館 2,600円(本体価格)
『豊臣政権の支配秩序と朝廷』 矢部健太郎著 吉川弘文館 8,500円(本体価格)

講師



國學院大學 客員教授
京都造形芸術大学教授
元NHKアナウンサー
まつだいら さだとも
松平 定知

講座内容

歴史というと、小学生のころから「鳴くよ鶯平安京」だの「いい国作ろう鎌倉幕府」なんてことを、ただただ機械的に覚えさせられてきた記憶があります。意味も関連性もなく、ただ、ひたすら、年代と事象を暗記するのは、「クイズ早押し番組用のテクニック」を磨くにはいいかもしれないけれど、その、「歴史は暗記」という誤った考え方は、どれだけ多くの「歴史好き」を抹殺してきたことでしょうか。

歴史の主人公は数字でもモノでも場所でもなく、まさしく「人間そのもの」です。その時その時のそれぞれの時代状況の中で、人と人が織りなす人間模様の積み重ねが、歴史上の諸相を引き起こさせるのです。そういう考え方で歴史を見ていくと、「結果としてそういう流れになったのは、そういった人たちのああいいう人間模様の結果だったのか」と、今まで考えてもみなかった「新しい歴史」を発見することが出来るかもしれません。大雑把な「時の流れ」を理解している方なら「その時歴史が動く」わくわく感を共有することが出来ます。そのお手伝いをしたいと思います。「1授業1人物」。その人物が織りなす他の人物との出会い、別れ、争闘、理解などなど、話したいことは山ほどあります。この授業は今回で4期目。1期10回ですから40回。これまで、1回に少なくとも5人以上の人とのかかわりを説明してきていますから、些かの重複はあっても、今季終了時には、第1期からの生徒さんはざっと200人以上もの歴史上の人物と知己になった勘定になります。それでもたった200人です。まだまだ…。

第1回	聖徳太子 「宗教と日本」推古15<<607>>→蘇我氏一族、物部氏一族
第2回	源義経 「世界観」文治元<<1185>>→源頼朝、藤原秀衡、泰衡、静、政子
第3回	日野富子 「金と平和」文明9<<1477>>→足利義政、義視、義尚、細川、山名
第4回	斉藤道三 「非情と天下」永禄10<<1567>>→道三、義龍、竜興、半兵衛、信長
第5回	山内千代 「内助の功」天正9<<1581>>→信長、一豊、おね、秀吉、田中孫作
第6回	明智光秀 「謀叛」天正10<<1582>>→秀吉、家康、黒田官兵衛、惠瓊、小早川
第7回	淀殿 「戦国女模様」慶長20<<1615>>→お市、お初、お江、おね、まつ
第8回	宮本武蔵 「五輪書」正保2<<1645>>→小次郎、如水、吉岡、細川一門、おつう
第9回	上杉鷹山 「伝国の辞」宝暦10<<1760>>→平洲、当綱、義政、佐藤、上野介
第10回	白虎隊 「会津魂」明治元<<1868>>→容保、隆盛、山本覚、捨松、山川健次郎

4月	16日
5月	7日、21日
6月	4日、18日
7月	2日
10月	15日、29日
11月	12日、26日

■単位数 2単位
■受講料 20,000円

テキスト 資料を配付します

講師



國學院大學
教授(特別専任)・博士(文学)
のなか てつしょう
野中 哲照

専門分野 日本文学(軍記もの)

講座内容

『平家物語』の見せ場は、いわゆる源平三大合戦(一の谷合戦、屋島合戦、壇の浦合戦)でしょう。三大合戦の中でも最大の山場は一の谷合戦だとされています。そのような、『平家物語』の山場とも言える一の谷合戦譚(巻9)を、この講座では読みます。

一般的に、一の谷合戦で有名なのは、鶴越(ひよどりごえ)の逆落とし、敦盛最期でしょう。ただし、部分的にそれらに触れることはあっても、一の谷合戦の全体像の中でそれらの有名な章段がどこに位置していて、どのように意味づけられているのか——そんなことを考える機会はありません。この講座では、一の谷合戦の全体像を考えながら、各章段を読んでゆきます。

また、一の谷合戦譚には、潔く死に急ぐ若武者、卑怯にも逃げようとする武士、姑息なだまし討ちをする者……さまざまな人間模様が描かれています。『平家物語』の死生観・人間観を窺い知ることのできる部分でもあります。

一の谷合戦の舞台である神戸市の地形も意識しながら、楽しんでいただきたいと思います。

4月	25日
5月	16日、30日
6月	13日、27日
7月	11日、25日
9月	26日
10月	10日、24日

■単位数 2単位
■受講料 20,000円

テキスト 資料を配付します

23

遊べる日本美術4 -日本美術にみる美人の系譜-

火曜日

18:30~20:00

講師



國學院大學
教授・博士(哲学)
ふじさわ
藤澤 紫

専門分野 日本美術史・日本近世史・比較芸術学

講座内容

日本美術の豊かな世界を、豊富なスライドや資料とともに楽しく学ぶ講座です。本年度は、日本美術史上に登場する様々な女性像を軸に、絵画、工芸、染織の名品を鑑賞し、日本美術に関わる知識や親しみを深めていきます。また最新の展覧会情報もお知らせ致しますので、講座で学んだ事柄を生かし、ぜひ気軽に作品に接してみてください。

火曜日の夜、一日がんばったご自身へのご褒美に、日本の美をめぐり、心を解放させてみませんか。國學院のオープンカレッジでは唯一の連続美術講座となる「遊べる日本美術」、さあ一緒に日本美術の世界に遊びましょう。

「日本美術にみる美人の系譜」

1. 美人画と日本美術
2. 近世初期風俗画にみる美男美女
3. 菱川師宣画「見返り美人図」の謎
4. 江戸出版界が育てたアイドル
5. 浮世絵美人七変化
6. 京都画壇と女性像
7. 歌舞伎の女形と所作の魅力
8. 文明開化期の女性たち
9. 近現代の挿絵文化と美人像
10. 女流作家が描く美人画

4月	17日
5月	8日、22日
6月	5日、19日
7月	3日
10月	9日、23日
11月	13日、27日

■単位数 2単位
■受講料 20,000円

テキスト 「遊べる浮世絵 体験版 江戸文化入門」
藤澤紫著 東京書籍
1,900円(本体価格)

参考書 講座時に適宜ご紹介します

24

華道に学ぶ ~一花一葉に心を洗う~

水曜日

12:50~14:20

講師



洗心流五世家元
とりい せんげつ
鳥居 茜月

専門分野 華道・美術史

講座内容

日本文化は、様々な分野で、世界的に注目されていますが、日本人である私達自身は、意外とその本質を知らずに過ごしています。中でも、華道や茶道、そして様々な武道などは、「道」がつくだけで敬遠されがちですが、是非、日々の生活に取り入れて戴きたい、日本独自の精神文化です。本講座では、「生け花」ではなく、「華道」である意味を、花に関する様々な角度から、分かりやすく学んで参ります。

- ・昨年までお話してきた、華道の歴史や、生活との関わりも取り入れながら
 - ・本年度は、「歳時記」を軸に、12ヶ月の動植物の営み、年中行事、祭り、季語などを、出来る限り1日ずつ、細かく、多角的に解説しながら学んで参ります
 - ・その他、「衣」「食」に因んで、花の色や香りが人へもたらす影響にも触れます
 - ・剣山を用いる「盛り花」、壺や花瓶に生ける「挿入」の実践の機会を設け、心を無にして“花の声を聴く”体験をして戴きます
 - ・最終章では、花と神仏との関わりをまとめ
- 単に花を「飾る」のではなく、本来の「花を生ける」という営みを見直すことで、現代社会で得難い、心の落ち着きと、清々しさを取り戻すきっかけになれば幸いです。

4月	18日
5月	9日、23日
6月	6日、20日
9月	26日
10月	10日、24日
11月	7日、21日

■単位数 2単位
■受講料 20,000円
■定員 30名(先着順)
締切日前に定員に達することがございます

テキスト 資料を配付します

※前期「盛り花」・後期「投げ入れ」実践にあたり、花材費(1,500円程度)を別途徴収いたします。

25

グローバリズムとナショナリズムの国際情勢

金曜日

18:30~20:00

講師



國學院大學客員教授
産経新聞編集局編集委員
くぼた りつこ
久保田るり子

専門分野 朝鮮半島情勢、日本外交・安全圏場、国際情勢

講座内容

21世紀の国際情勢はいま、グローバリズムとナショナリズムの相克のなかで混沌とした時代に入ろうとしています。国際秩序をリードしてきた米英両国が、ドナルド・トランプ氏を大統領に選び、EU離脱という選択を行ったのが2016年でした。そして、この象徴的な価値観の転換とほぼ同時期に、巨象となった中国がその存在感を増し、アジアを威圧する事態がますます露わになったのです。一方、まさしく「アジアの火薬庫」である朝鮮半島が限界に迫るほどの危険度を上げ、脅威を受けた日本は当事国となりつつあります。

私の講座では、まず前期にアジアの地域情勢について、歴史的、政治的、社会的背景を踏まえて考えていきます。特に朝鮮半島は私の専門分野でもあるので、最新のニュース分析も踏まえて多角的な視点からの情勢の読み方についてお話できればと思います。この地域の対立には歴史的に根深い構造が横たわっていますが、そうした国際関係についての理解を深めることが講義の目標です。後期は、アジアから世界に視野を広げ、欧州の憂鬱や米国の抱える問題、またロシア、中国との日本外交についても論じていこうと考えています。みなさまのご参加をお待ちしています。

4月	20日
5月	11日、25日
6月	8日、22日
9月	28日
10月	12日、26日
11月	9日、30日

■単位数 2単位
■受講料 20,000円

テキスト 資料を配付します

参考書 『二つのコリア』 ドン・オーバードーフ著 共同通信社 3,700円(本体価格)
『文明の衝突』 サミュエル・ハンチントン著 集英社文庫 上 700円(本体価格) 下 700円(本体価格)

26

かなの鑑賞と実作 ー重之集に学ぶー

月曜日
12:50~14:20

講師



公益財団法人 五島美術館 副館長
國學院大學兼任講師
なごや あきら
名児耶 明

専門分野 日本書道史・
博物館学(実習)

講座内容

仮名の美しさは、日本人の誰もが自然と身につけている共通の美意識が現れているもっとも象徴的なものであると思います。しかも仮名には、様々な美しさ、書風があり、時代によるそれらの変遷もあります。11世紀中頃には仮名文字としての美しさを示す典型が登場し、それらを基準として以後の仮名文字が発展したと考えられています。その典型作品が「高野切」と呼ばれる『古今和歌集』の写本です。

しかし、近年「高野切」より前にも美しい仮名が存在していたことが推測され、仮名文字が完成されたといわれる900年ころから1000年頃までの仮名を探る事が重要になっています。特に近年、いくつか1000年頃の、仮名遺品も確認され、予測通りに仮名の表現の変遷も考え直す時代になっています。そうした中で、表現が独自の美しさをしめす作品に「重之集」があります。この作品については、書写年を11世紀後半とする意見が多かったのですが、この表現は11世の前半の可能性もあると考えます。「高野切」以前の仮名表現かもしれません。

今回は、その「重之集」を取り上げて、その美の仕組みを学びたいと思います。それぞれの字形や散らし書きの妙、そして11世紀前半の書写と思われる理由などについても解説したいと思います。

4月	9日、16日
5月	14日、21日、28日
6月	11日、18日、25日
7月	9日、23日

■単位数 2単位
■受講料 20,000円
■定員 30名(先着順)
締切日前に定員に達することがございます

テキスト 日本名筆選10『重之集』 佐藤原行成筆 二玄社 2,600円(本体価格)

27

漢字(一)楷書・ペン習字〈初級・中級〉

ー漢字の基礎・古典の臨書(1)ー

月曜日
14:30~16:00

講師



書道・ペン字講師
こじま けんじ
小嶋 憲次

専門分野 書法・ペン習字教育
書の商業デザイン

講座内容

長年書を学んでいる方の中にも、文字の形は美しく書くことができるが、止め、はね、払いがしっかりと書けない方が多いようです。本講座では、まず書学習上のポイントを講義し次に①書道の基礎をしっかりと学ぶ。②書道の楽しみを深く学ぶ。③ペン習字の基礎と応用を学ぶ。この3つのコースから選択していただきます。

《選択項目》

- ①書道の基礎をしっかりと学習したい方のためのコース
とめ、はね、払い、文字の造形方法など基礎的学習
- ②書道をより深く学習したい方のためのコース
楷書、行書、草書、隷書、篆書など学びたい書体、その古典を選択して学ぶ。どの古典を選択していいか、わからない方はアドバイスします。
- ③ペン習字の基礎と応用のコース
ひらがな、カタカナ、漢字楷書、行書の基礎学習から、手紙・年賀状・祝儀袋などへの応用を学習します。
全体共通の内容については、共通の講義をしますが、他は一人一人個別に、説明、指導いたします。
第1回目から書道用具一式・万年筆、又は0.5ミリの水性ボールペンをご持参ください。

4月	9日、16日、23日
5月	7日、14日、21日、28日
6月	11日、18日、25日

■単位数 2単位
■受講料 20,000円
■定員 30名(先着順)
締切日前に定員に達することがございます
※前期のみ、後期のみの受講も可能です。

テキスト 天来書院手本シリーズ ペン習字は資料を配布します

28

漢字(二)楷書・ペン習字〈初級・中級〉

ー漢字の基礎・古典の臨書(2)ー

月曜日
14:30~16:00

講師



書道・ペン字講師
こじま けんじ
小嶋 憲次

専門分野 書法・ペン習字教育
書の商業デザイン

講座内容

今回は受講生全員の方が同じ古典を学習するのではなく、各自、学習したい書体、書風を選択していただき、前期、後期とも同じ方法で学びます。

《選択項目》

- ①書道の基礎をしっかりと学習したい方のためのコース
とめ、はね、払い、文字の造形方法など基礎的学習
- ②書道をより深く学習したい方のためのコース
楷書、行書、草書、隷書、篆書など学びたい書体、その古典を選択して学ぶ。書道作品の書き方を学ぶ。どの古典を選択していいか、わからない方はアドバイスします。
- ③ペン習字の基礎と応用のコース
今回はペン習字の基礎の復習と、手紙の書き方などの応用を中心に学習します。
全体共通の内容については、共通の講義をしますが、他は一人一人個別に、説明、指導いたします。テキストは基本の学習以外、天来書院発行の書籍から選んでいただきます。
第1回目から前期と同じ用具をご持参ください。

10月	1日、15日、22日、29日
11月	12日、19日、26日
12月	3日、10日、17日

■単位数 2単位
■受講料 20,000円
■定員 30名(先着順)
締切日前に定員に達することがございます
※前期のみ、後期のみの受講も可能です。

テキスト 天来書院手本シリーズ ペン習字は資料を配布します

29

漢字(三)楷書と草書〈初級・中級〉

かんちゅうほん しんそうせん しもん
一関中本「真草千字文」を学ぶⅠ

講師



書法家
つつい しげのり
筒井 茂徳

専門分野 書学・書道教育

講座内容

「真草千字文」は王羲之七代目の子孫にあたる隋の智永が書いた名品です。千字文の全字を楷書と草書の両書体を並列して書いてあり、楷書は虞世南の「孔子廟堂碑」、草書は孫過庭の「書譜」の先駆けとなるオーソドックスで穏和な書風の手本です。

この講座では習いやすい拡大手本を使い、半紙六字書きで右の行に楷書を、左の行に草書を並列して習ってゆきます。楷書、草書を併せて学び、楷書が上達するだけでなく、草書を憶えることにもつなげてゆきたいと考えています。

用具は第1回の授業で簡単な説明をいたしますが、すでにお持ちの書道用具一式(半紙は20枚ほど、墨液可)を最初の授業から御持参ください。

木曜日

14:30~16:00

4月	12日、19日、26日
5月	10日、17日、24日、31日
6月	7日、14日、21日

- 単位数 2単位
 - 受講料 20,000円
 - 定員 30名(先着順)
- 締切日前に定員に達することがございます
※前期のみ、後期のみの受講も可能です。



資料を配付します



精選拡大法帖7 「関中本千字文」[隋・智永] 二玄社 2,000円(本体価格)

30

漢字(四)楷書と草書〈初級・中級〉

かんちゅうほん しんそうせん しもん
一関中本「真草千字文」を学ぶⅡ

講師



書法家
つつい しげのり
筒井 茂徳

専門分野 書学・書道教育

講座内容

前期に続いて隋の智永書「真草千字文」を学びます。千字文の全字を楷書と草書を並列して書いてあり、王羲之の七世の後裔である智永の書らしい正統的で穏やかな書風の手本です。

この講座では習いやすい拡大手本を使い、半紙六字書きで右の行に楷書を、左の行に草書を並列して習ってゆきます。楷書、草書を併せて学び、楷書が上達するとともに、草書を憶えることにもつなげればと願っています。

用具は第1回の授業で簡単な説明をいたしますが、すでにお持ちの書道用具一式(半紙は20枚ほど、墨液可)を最初の授業から御持参ください。

猶、前期の講座からの連続授業ですが、後期から参加なさっても大丈夫です。基礎的なところから説明いたします。

木曜日

14:30~16:00

9月	27日
10月	4日、11日、18日、25日
11月	8日、15日、22日、29日
12月	6日

- 単位数 2単位
 - 受講料 20,000円
 - 定員 30名(先着順)
- 締切日前に定員に達することがございます
※前期のみ、後期のみの受講も可能です。



資料を配付します



『書譜字典』 二玄社 1,200円(本体価格)
『楷書がうまくなる本』 筒井茂徳 二玄社 1,000円(本体価格)

31

漢字(五)行書〈初級・中級〉 -王羲之「集字聖教序」を習う-

講師



國學院大學
兼任講師
のむら
野村 ひかり

専門分野 中国書法

講座内容

文章に合わせて文字を集めて書跡を作ること「集字」といいます。
書聖・王羲之(303?~361?)の書は人々の憧れの的でありましたが、一般人は見る機会がありませんでした。そうした人々の渇きを癒やしたのが、羲之の文字を集めた集字碑(集字碑)です。

王羲之の集字碑では、「興福寺断碑」(721)も知られるところではありますが、この「集字聖教序」(672)はその後の集字碑の嚆矢ともなる名品です。

「聖教序」とは、かの玄奘三蔵法師がインドより将来した仏典を漢訳し、唐の太宗に序文を請い、序が下賜されるとともに高宗にも記を賜ったものを指しています。碑は現在、西安碑林に列置されています。

この「集字聖教序」は、碑がつくられた唐代以来、王羲之の行書を習う手本として重んじられてきました。本講座では、初級の方は行書の基本を学び、中級の方は基本から応用へとすすみ、半切作品にも取り組みます。

第一回目から書道用具一式(筆、墨、硯、半紙、下敷、文鎮など)をご持参ください。新たに購入される場合は、第一回目の用具用材についての説明の後、ご購入ください。

金曜日

10:30~12:00

4月	13日、20日、27日
5月	11日、18日、25日
6月	1日、8日、15日、22日

- 単位数 2単位
 - 受講料 20,000円
 - 定員 30名(先着順)
- 締切日前に定員に達することがございます
※前期のみ、後期のみの受講も可能です。



中国法書選16 「集字聖教序」[東晋王羲之] 二玄社 1,600円(本体価格)

32

漢字(六)行書〈初級・中級〉 -王羲之「喪乱帖」[孔侍中帖]を習う-

金曜日
10:30~12:00

講師 

國學院大學
兼任講師
のむら
野村 ひかり

専門分野 中国書法

講座内容

王羲之(303?~361?)の尺牘(手紙)の書を学びます。
 王羲之の功績は、“行書”を史上はじめて、書体の上で、芸術的に書表現として完成させたところにありますが、前期で学ぶ「集字聖教序」や今期に学ぶ「喪乱帖」[孔侍中帖]などの古典は、今日の私達に行書の美しさの典型を示してくれています。
 千数百年後の今日なお永遠の理想像として仰がれ続けている王羲之の書ですが、実は、一片の真跡も存在してはおりません。双鉤填墨本もしくは摹本が臨本です。
 写したものでありながらなぜ今日まで名品として伝承してきたか、どのように写されたのか、真跡はどのように書かれていたのか等を考えながら、学んでいきます。
 そして各方面からの分析により、王羲之尺牘の真の姿をとらえながら、作品に皆さん自身の生命を吹き込んでいただきたいと思います。
 第一回目から書道用具一式(筆、墨、硯、半紙、下敷、文鎮など)をご持参ください。新たに購入される場合は、第一回目の用具用材についての説明の後、ご購入ください。

10月	5日、12日、19日、26日
11月	9日、16日、30日
12月	7日、14日、21日

■単位数 2単位
 ■受講料 20,000円
 ■定員 30名(先着順)
 締切日前に定員に達することがございます
 ※前期のみ、後期のみの受講も可能です。

テキスト 中国法書選12 『王羲之尺牘集(上)』(東晋王羲之) 二玄社 1,600円(本体価格)

33

日本の漢字(一)行書・草書〈初級・中級〉

-空海・最澄を習う-

木曜日
12:50~14:20

講師 

國學院大學
兼任講師
いしい きよかず
石井 清和

専門分野 書法

講座内容

前回(29年度)は空海を習いました。今年は空海と最澄を習います。空海の「風信帖」を手本として行書・草書を習います。前回受講された方は精習してみてください。「灌頂歴名」を習います。これは簡単にいうと芳名帳のようなもので、受講される方が生活に係わりの多い文字やカッコイイと感じる文字を選んで習ってください。最澄の「久隔帖」を習います。これは唯一の肉筆となるものです。仏教を二分した二人の書を臨書しながら、平安唐様の書の世界に想いを巡らしてみてください。それから「風信帖」と「灌頂歴名」から集字をして2・3字くらいの言葉を書いてみます。例えば安泰・哲学・観望月など。この勉強方法は作品づくりに大変役に立ちます。
 講座内容は筆の持ち方、基本点画の書き方など繰り返し返して練習します。また原寸大で臨書する時の執筆法・用筆法の注意点を習います。
 この講座は、筆できれいな線と品格のある文字を書くにはどうしたらよいかという授業となります。学習方法は、一、基本点画の書き方。二、起筆と収筆の筆づかい。三、臨書方法(原寸大、拡大臨書)。四、字形の要点をみつける目を養う。

4月	12日、19日、26日
5月	10日、17日、24日、31日
6月	7日、14日、21日

■単位数 2単位
 ■受講料 20,000円
 ■定員 30名(先着順)
 締切日前に定員に達することがございます
 ※前期のみ、後期のみの受講も可能です。

テキスト 奈良平安の書② 「風信帖・灌頂記 空海」 天来書院 1,100円(本体価格)

34

日本の漢字(二)行書・草書〈初級・中級〉

-空海・最澄を習う-

木曜日
12:50~14:20

講師 

國學院大學
兼任講師
いしい きよかず
石井 清和

専門分野 書法

講座内容

前講座(一)とほぼ同じ学習方法となります。(一)を受講した方は自分で課題をもって書に親しんでもらいたい。日常生活に使える書、半切など大きい作品を作る。集字をして2・3字の小品を作るなど。
 初めての方は本講座(一)(二)を続けて受講することが理想ですが、(一)か(二)のいずれかを受講しても差し支えありません。
 「粘葉本」を続けて受講されてきた方は、「粘葉本」を手習いしつつけても構いません。合間に唐様の書で和様の書に利用できる筆づかいをみつけてください。
 講座(一)(二)とも第一回目の講座で文房具について説明します。紙・筆を購入しようと思っている方は、この説明を聞いてから購入すればよいと思います。使用の紙・筆に疑問がある方はご持参ください。

9月	27日
10月	4日、11日、18日、25日
11月	8日、15日、22日、29日
12月	6日

■単位数 2単位
 ■受講料 20,000円
 ■定員 30名(先着順)
 締切日前に定員に達することがございます
 ※前期のみ、後期のみの受講も可能です。

テキスト 奈良平安の書② 「風信帖・灌頂記 空海」 天来書院 1,100円(本体価格)

35

仮名(一)〈初級・中級〉－美しい仮名を書きたい人のために－

火曜日

12:50~14:20

講師



國學院大學
兼任講師
すぎうら たえこ
杉浦 妙子

専門分野 仮名書道・
日本書道史

講座内容

日本人の多くは文字を美しく書くことを望んでいます。それは日本文化がいろいろな方面で、文字と深く関係しているからでしょう。

本講座は仮名の最も発展した摂関期及び院政期を代表する古筆を選び、学習していく講座です。文字をうまく書きたいと望んでいても、なかなか重たい腰が上がらない方、ここで思い切って「手習い」を始めてみませんか。学生時代のように早く上達はしません、ここでゆっくりと取り組んではいかがでしょう。

前期は仮名が完成した頃成立した『粘葉本和漢朗詠集』をテキストとして仮名の基礎を学びます。平明な造形と線質を学んでください。以前に仮名を学習した方でも、良い復習法となるでしょう。実際の講座内では各自の実力に合わせて学習の仕方をしていきます。

初めて受講される方は、一回目の講座の時にお手持ちの書道用具と筆記具をお持ち下さい。まず、用具の見直しから始め、各自の手に合った道具を紹介しますから、初心者の方も安心して合流して下さい。

4月	10日、17日、24日
5月	8日、15日、22日、29日
6月	5日、12日、19日

■単位数 2単位
■受講料 20,000円
■定員 37名(先着順)
締切日前に定員に達することがございます
※前期のみ、後期のみの受講も可能です。

テキスト 日本名筆選8 『粘葉本和漢朗詠集』巻上 伝藤原行成筆 二玄社 3,800円(本体価格)

36

仮名(二)〈初級・中級〉－美しい仮名を書きたい人のために－

火曜日

12:50~14:20

講師



國學院大學
兼任講師
すぎうら たえこ
杉浦 妙子

専門分野 仮名書道・
日本書道史

講座内容

後期は西本願寺の庫裡から発見された三十六人集の一部である『石山切伊勢集』を学びます。美しい料紙と文字のコラボレーションが魅力の古筆です。筆の回転の力をフルに使った奥行きある線が際立ちます。

西本願寺から発見されたこの三十六人集は、近代に入ってからの大発見と言われていきます。まず、発見のいきさつをご紹介することから始めましょう。次に仮名料紙の美しさを極限にまで表現したこの古筆から、当時の美術工芸の高い水準を垣間見てみましょう。現在までも息づいている日本の工芸技術の水準は、目を見張るものがあります。また、秋は各地でいろいろな企画展が催されますので、それに応じて展覧会の紹介も致します。

初心者の方は、「いろは」から初めていきますから、後期からの受講も可能です。初めて受講される方は、一回目の講座の時にお手持ちの書道用具と筆記用具をお持ち下さい。まず、用具の見直しから初め、各自の手に合った道具を紹介します。

9月	25日
10月	2日、9日、16日、23日、30日
11月	13日、20日、27日
12月	4日

■単位数 2単位
■受講料 20,000円
■定員 37名(先着順)
締切日前に定員に達することがございます
※前期のみ、後期のみの受講も可能です。

テキスト 日本名筆選21 『石山切伊勢集』 伝藤原公任筆 二玄社 3,000円(本体価格)

37

仮名(三)〈初級・中級〉
仮名書道の楽しみ－散らし書き－

月曜日

10:30~12:00

講師



國學院大學
准教授・博士(芸術学)
はしもと たかあき
橋本 貴朗

専門分野 書道・日本書道史

講座内容

散らし書きは、行の高低・長短、また行間の広狭などを変えることによって、紙面に変化と統一を与えようとする仮名書道独特の表現方法です。

本講座では、散らし書きの基本と様々なバリエーションを、昭和を代表する書家の一人・桑田笹舟(1900—1989)が提唱した三角法構成(紙面に三角形を想定するもの)に基づいて、学んでいきます。仮名古筆の臨書から、創作への展開を企図するものでもあります。

必要な用具・用材については、講座第1回目に説明します。第2回目以降は、原則として講座前半が講義、後半が実習です(受講者数また各回の講義内容により、添削は2~3回に1回程度となる場合もあります)。

なお本講座の内容は、平成28年度前期開講の同名講座に準じます。

4月	16日、23日
5月	7日、14日、21日、28日
6月	4日、11日、18日、25日

■単位数 2単位
■受講料 20,000円
■定員 30名(先着順)
締切日前に定員に達することがございます
※前期のみ、後期のみの受講も可能です。
※一部、日程変更の可能性がります

テキスト 資料を配付します

参考書 『今さら他人に聞けない かなの疑問100』 村上翠亭著 芸術新聞社 1,800円(本体価格)

その他、講座中に随時、紹介します

38

仮名(四)〈中級〉一本阿弥切一

月曜日
10:30~12:00

講師



國學院大學
准教授・博士(芸術学)
はしもと たかあき
橋本 貴朗

専門分野

書道・日本書道史

講座内容

「本阿弥切」は、美しい船載の唐紙にリズムカルな筆致が特徴的な、平安時代の仮名古筆を代表する優品の一つです。その名称は、寛永の三筆の一人・本阿弥光悦(1558—1637)の愛蔵と伝えられることによると言われます。「古今和歌集」を書写したもので、12世紀前半の成立と考えられています。

本講座では、筆法(筆の使い方)や料紙(書かれた紙)、装丁(本の仕立て方)等、様々な角度から見ていくことで、「本阿弥切」に対する理解を深めるとともに、仮名書道の技法のいっそうの習熟を目指します。原寸臨書を中心に、拡大臨書や倣書にもチャレンジしたいと思います。

必要な用具・用材については、講座第1回目に説明します。第2回目以降は、原則として講座前半が講義、後半が実習です(受講者数また各回の講義内容により、添削は2~3回に1回程度となる場合もあります)。

9月	24日
10月	1日、15日、22日、29日
11月	19日、26日
12月	3日、10日、17日

- 単位数 2単位
 - 受講料 20,000円
 - 定員 30名(先着順)
- 締切日前に定員に達することがございます
※前期のみ、後期のみの受講も可能です。
※一部、日程変更の可能性あります

テキスト

日本名筆選29「本阿弥切」 伝小野道風筆 二玄社 3,000円(本体価格)

参考書

「平安かなの美」 村上翠亭監修・高城弘一編 二玄社 2,600円(本体価格)
「図説かなの成り立ち事典」 森岡隆著 教育出版 2,500円(本体価格)

その他、講座中に随時、紹介します

39

仮名(五)〈中級〉「高野切第三種」と同筆同系統古筆の研究

金曜日
12:50~14:20

講師



大東文化大学教授
國學院大學兼任講師
たかしろ こういち
高城 弘一

専門分野

日本書道史・古筆学
料紙研究・仮名書道

講座内容

本講座は、かなに親しみ、日本文化の一端に触れることを目的とします。最新のかな古筆に関する展覧会や出版情報なども、随時提供したいと思います。

かな学書の上で、伝紀貫之筆「高野切」は基本中の基本です。書風によって第一種・第二種・第三種と分けられ、それぞれ同筆同系統の古筆が伝存します。本講座では、毎時、「高野切第三種」とその同筆同系統の古筆で和歌数首ずつ取り上げ、そのものの筆法分析はもとより、その歌の解釈・背景などを鑑賞していきたいと思っています。あわせて、かな作品の事例を提示します。

90分の授業では、前半の約60分を講義、後半の約30分が鑑賞等となり、講座内での実技実習はありません。課題に関しては、お家で仕上げた上で、作品を提出してください。お預かりした作品は、コメントを記入して、次回に返却します。毎回の課題提出は任意です。第1回授業時には、テキスト・筆記用具のみご持参下さい。

4月	13日、20日、27日
5月	11日、18日、25日
6月	1日、8日、15日、22日

- 単位数 2単位
 - 受講料 20,000円
 - 定員 40名(先着順)
- 締切日前に定員に達することがございます
※前期のみ、後期のみの受講も可能です。

テキスト

「平安かなの美」 村上翠亭監修・高城弘一編 二玄社 2,600円(本体価格)

40

仮名(六)〈中級〉「関戸本古今和歌集」と同筆同系統古筆の研究

金曜日
12:50~14:20

講師



大東文化大学教授
國學院大學兼任講師
たかしろ こういち
高城 弘一

専門分野

日本書道史・古筆学
料紙研究・仮名書道

講座内容

本講座は、かなに親しみ、日本文化の一端に触れることを目的とします。最新のかな古筆に関する展覧会や出版情報なども、随時提供したいと思います。

かな学書の上で、伝藤原行成筆「関戸本古今和歌集」は基本的な古筆の一つです。また、同筆同系統の古筆が伝存します。本講座では、毎時、「関戸本古今和歌集」とその同筆同系統の古筆で和歌数首ずつ取り上げ、そのものの筆法分析はもとより、その歌の解釈・背景などを鑑賞していきたいと思っています。あわせて、かな作品の事例を提示します。

90分の授業では、前半の約60分を講義、後半の約30分が鑑賞等となり、講座内での実技実習はありません。課題に関しては、お家で仕上げた上で、作品を提出してください。お預かりした作品は、コメントを記入して、次回に返却します。毎回の課題提出は任意です。第1回授業時には、テキスト・筆記用具のみご持参下さい。

9月	28日
10月	12日、19日、26日
11月	9日、16日、30日
12月	7日、14日、21日

- 単位数 2単位
 - 受講料 20,000円
 - 定員 40名(先着順)
- 締切日前に定員に達することがございます
※前期のみ、後期のみの受講も可能です。

テキスト

「平安かなの美」 村上翠亭監修・高城弘一編 二玄社 2,600円(本体価格)

41

篆刻(一)〈初級〉 一篆書・篆刻に親しむ一

水曜日

10:30~12:00

講師



新

國學院大學
兼任講師・博士(芸術学)
たむら なみこ
田村 南海子

専門分野 書・篆刻

講座内容

本講座は、新設の書道講座です。篆書を習い、書画の作品に押す落款印や、手紙などに用いる遊印を作成したりするものです。

はじめに、半紙に4字書きで、篆書の基本的な形や筆づかいを習います。その後、少し篆書に親しんできたところで、印の制作に入ります。また、随時配布するプリント教材により、著名な篆刻家の作品を觀賞しつつ、徐々に発展的な内容へと進んでいけるとおもいます。

ご希望により、篆書の臨書や作品づくりに専念して取り組んでいただくことも可能です。作業は、各自の進捗状況に応じて進めていただき、個別に添削をします。経験の有無などに関わらず、安心してご受講下さい。

第1回目は、用具説明と篆書の練習(半紙)を予定しています。すでにお持ちの書道用具一式をご持参下さい。新たに購入する場合は、第1回目の説明後に購入されることをお勧めします。書道用具をお持ちでない方や、いろいろな疑問や不安がある場合には、講座の第1回目に、直接講師にお尋ね下さい。

4月	11日、18日、25日
5月	9日、16日、23日、30日
6月	6日、13日、20日

■単位数 2単位
■受講料 20,000円
■定員 20名(先着順)
締切日前に定員に達することがございます
※前期のみ、後期のみの受講も可能です。



テキスト 資料を配付します



参考書 第1回目に紹介します

42

篆刻(二)〈初級〉 一篆書・篆刻に親しむ一

水曜日

10:30~12:00

講師



新

國學院大學
兼任講師・博士(芸術学)
たむら なみこ
田村 南海子

専門分野 書・篆刻

講座内容

前講座(一)とほぼ同じ学習方法となります。篆書を習い、個別に印を刻します。

制作する作品は、漢代に用いられた印を模範としつつ、各自のご要望に沿うものが作れるように進めていく予定です。例えば、漢字作品用の姓名印や雅号印、仮名の作品に押す小さな印などを作りたいと思います。このようなものをすでにお持ちの方は、詩句印や象形印、住所印を作ってみてはいかがでしょうか。

ご希望により、篆書の臨書や作品づくりに専念して取り組んでいただくことも可能です。作業は、各自の進捗状況に応じて進めていただき、個別に添削をします。経験の有無などに関わらず、安心してご受講下さい。

第1回目は、用具説明と篆書の練習(半紙)を予定しています。すでにお持ちの書道用具一式をご持参下さい。新たに購入する場合は、第1回目の説明後に購入されることをお勧めします。書道用具をお持ちでない方や、いろいろな疑問や不安がある場合には、講座の第1回目に、直接講師にお尋ね下さい。

9月	26日
10月	3日、10日、17日、24日、31日
11月	7日、14日、21日、28日

■単位数 2単位
■受講料 20,000円
■定員 20名(先着順)
締切日前に定員に達することがございます
※前期のみ、後期のみの受講も可能です。



テキスト 資料を配付します



参考書 第1回目に紹介します

オープンカレッジ講座風景



▲神道を知る講座 神社参拝



▲遊べる日本美術講座



▲書道講座



▲万葉集を読む講座

以下の項目について
ご注意ください
ようお願い申し上げます。

- レジュメの郵送は致しておりません。
- 前の時間の授業が終わるまで教室に入らないでください。
- 欠席のご連絡は必要ありません。

43

神道の歴史 — 京都の祭礼から読み解く —

火曜日
10:45~12:15



講師
國學院大學
准教授・博士(神道学)
だいとう たかあき
大東 敬明

専門分野 神道史(神仏関係史、祭礼文化史)

新

講座内容

日本各地には様々な祭礼があります。
本講義では、神社と祭礼の関係を、本多健一『京都の神社と祭り』に沿って、葵祭(賀茂祭)(賀茂御祖神社・賀茂別雷神社)、稲荷祭(伏見稲荷大社)、祇園祭(八坂神社)、剣鉾の祭りなどを取り上げながら講義します。
京都の祭礼は、各地の祭礼や芸能にも影響を与えているため、それを理解することは、各地の祭礼行事・民俗芸能を理解することにつながり、かつ神道の歴史を理解する上でも重要です。
講義予定は下記のとおりです。

- | | |
|-----------------------------|----------------------|
| 第1回 祭礼とは何か? | 第6回 平安京の都市構造と結びついた祭り |
| 第2回 京都を代表する神社・祭と都市の歴史 | 第7回 平安後期から鎌倉期の祭 |
| 第3回 平安京以前の古い信仰と神社、平安京前から続く祭 | 第8回 南北朝期から室町期の祭 |
| 第4回 都市・平安京に生まれた新しい信仰と神社 | 第9回 戦国期から安土桃山期の祭 |
| 第5回 平安後期以降に生じた地域の守り神への信仰 | 第10回 近世から近代、そして現代へ |

4月	17日
5月	8日、22日
6月	5日、19日
7月	3日
10月	2日、16日、30日
11月	13日

■単位数 2単位
■受講料 20,000円

テキスト 本多健一『京都の神社と祭り 千年都市における歴史と空間』中公新書2345、中央公論新社、880円(本体価格)に沿って講義し、必要に応じてプリントも配布します。

参考書 『中近世京都の祭礼と空間構造 御霊祭・今宮祭・六斎念仏』 本多健一 吉川弘文館 10,000円(本体価格) 『山・鉾・屋台行事 祭りを飾る民俗造形』 植木行宣・福原敏男 岩田書院 3,000円(本体価格)

44

『古事記』下巻を読む — 仁徳記 —

木曜日
10:45~12:15



講師
國學院大學
助教・博士(文学)
わたなべ たかし
渡邊 卓

専門分野 日本上代文学・神道古典・国学

講座内容

前年度に引き続き、『古事記』下巻の仁徳記から読み進めていきます。中巻最後の応神天皇と関連する仁徳記の説話や、中国古典に由来する理想的帝王像の影響を受ける『聖帝』としての仁徳像は、下巻が善政者である天皇による新時代を描いているといえます。しかし、一方で仁徳天皇の物語は、恋多き天皇としての側面もあり、多くの歌謡とともに語られていきます。複数の女性との恋物語は皇后の嫉妬をかい、なかには天皇の妻間に端を発する反乱伝承もみられます。これら仁徳記には歌と物語によって語られており、『古事記』を理解するためには歌表現の解釈が重要になっていきます。そのため、歌表現に注視しながら丁寧に読み進めていきたいと思っています。

本講座では『古事記』を中心として読み進めるとともに、『日本書紀』『風土記』『万葉集』などの他文献とも比較することによって『古事記』の特質を明らかにして学んでいきます。読み進める場面は、昨年度からの継続となりますが、初めて受講する方にも『古事記』のおもしろさを理解いただけるよう、下巻冒頭から振り返りながら講義を進めて参ります。

4月	26日
5月	10日、24日
6月	14日、28日
7月	12日
10月	18日
11月	8日、22日
12月	6日

■単位数 2単位
■受講料 20,000円

テキスト 『新版 古事記(現代語訳付き)』 中村啓信 訳注 角川ソフィア文庫 1,160円(本体価格)

45

源氏物語講読 — 「濡標」「蓬生」の2帖を読む —

金曜日
14:50~16:20



講師
國學院大學 栃木短期大学
教授・文学博士
はやしだ たかかず
林田 孝和

専門分野 平安朝文学

講座内容

『源氏物語』は、日本人の精神史に生き続けている伝承的事実が破綻なく織り込まれ、しかもその上に作者の巧みな作為のペールがかけられています。この伝承性と作為性とは常に微妙に映発しあい、この作品の醸す(もののおはれ)の世界を深甚なものにしています。

こうした『源氏物語』の有する文学性の発掘をめざして、今年第14帖「濡標」、第15帖「蓬生」の2帖を読んでいきます。

第1回目は『源氏物語』への誘いで、物語の舞台となる「平安京」について述べます。2回目からテキストに入りますが、この2帖は光源氏28歳から29歳までの物語です。「濡標」では、朱雀院が譲位、冷泉帝が即位します。光源氏は中央政権の場に復帰、内大臣に昇進します。明石に残した明石の君は女兒を出産、六条御息所母娘は伊勢から帰京、御息所は娘の後事を光源氏に託し死去します。「蓬生」の巻では、光源氏を待ち続けた末摘花の窮乏をきわめる生活を語り、夏にやっと再会し、光源氏は援助をし始めます。

4月	20日
5月	11日、25日
6月	8日、22日
7月	6日
9月	28日
10月	12日、26日
11月	9日

■単位数 2単位
■受講料 20,000円

テキスト 資料を配付します 参考書 『源氏物語事典』 林田孝和他編 大和書房 7,200円(本体価格)

46

松尾芭蕉の紀行文を読む 『野ざらし紀行』

金曜日

14:50~16:20

講師



國學院大學
准教授
なかむら まさあき
中村 正明

専門分野 近世文学

講座内容

本講座は、松尾芭蕉の遺した紀行文を丹念に読み解いていくものである。
松尾芭蕉は深川の庵に隠棲した後、自らの俳諧を模索し極めるために、和漢の古典文学を学び、参禅をし、そして俳諧修行の旅へと出かけていった。その旅の様子は、紀行文『野ざらし紀行』に始まり、『鹿島詣』、『笈の小文』、『更科紀行』、『おくのほそ道』として書き継がれていった。

芭蕉は、旅を重ね、多くの人々と出会い、俳諧に対する思索と研鑽を積むことによって、新しい俳諧<蕉風俳諧>を生み出すに至るのである。つまり彼の紀行文を読み進めることは、芭蕉の俳諧の変化と深化の過程を追うことにも通じるわけである。

今回は、芭蕉の最初の紀行文である『野ざらし紀行』をじっくりと読み込んでいく。と同時に、江戸時代の俳諧の方法や状況に関しても触れていきたいと考えている。

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 第1回 松尾芭蕉について・『野ざらし紀行』概説 | 第6回 山中・不破・大垣・桑名・熱田 |
| 第2回 『野ざらし紀行』旅立ち・箱根 | 第7回 尾張・故郷越年・大和・京都 |
| 第3回 富士川・小夜中山・伊勢 | 第8回 大津・出会い・離別・惜別・帰郷 |
| 第4回 伊賀上野・大和国・当麻寺 | 第9回 素堂序(同時代評) |
| 第5回 吉野 | 第10回 まとめ・旅のあと |

4月	20日
5月	11日、25日
6月	8日、22日
7月	6日
9月	28日
10月	12日、26日
11月	9日

■単位数 2単位
■受講料 20,000円

テキスト 『芭蕉紀行文集』
中村俊定校注
岩波文庫
620円(本体価格)

47

『承久記』を読む

金曜日

10:45~12:15

講師



國學院大學
教授(特別専任)・博士(文学)
のなか てつしょう
野中 哲照

専門分野 日本文学(軍記もの)

講座内容

承久合戦(承久の乱、1221年)と戊辰戦争(1868~69年)に挟まれた600年余りの時代が本格的な武士の時代、すなわち中世・近世です。『平家物語』が古代の終焉を写し取った物語であるのに対して、『承久記』は中世の到来を語る歴史叙述です。そこには、尼将軍・北条政子が大演説を行い、参戦を迷う武士たちの心をついにまとめ、時代を突き動かしていった心躍る内容も含まれています。強き女性リーダーが、次の時代の方向性を定めていったのです。そういう意味で『承久記』は、現代的な意義を帯びていると言えます。

『承久記』の読みどころは、北条政子だけではありません。後鳥羽院と北条氏の戦いは京都と鎌倉の戦いでもあるのですが、合戦当時、京都にいた鎌倉武士もいました。つまり、どちらに付いても不思議ではなかった、板ばさみ的な武士たちです。『承久記』は、彼らの言動も活写しています。

また、承久合戦は鎌倉軍が京都に攻め上る構図であるため、北陸道・東山道・東海道の進軍の様子や途中の合戦、最終局面である瀬田(滋賀県大津市)や宇治(京都府宇治市)の合戦など、スケールの大きさも『承久記』の魅力です。

このように『承久記』は、さまざまな面から楽しめる物語です。

4月	20日
5月	11日、25日
6月	8日、22日
7月	6日、20日
9月	21日
10月	5日、19日

■単位数 2単位
■受講料 20,000円

テキスト 資料を配付します

48

目で見て学ぶ『源氏物語』 「帚木」巻を読む②

金曜日

14:50~16:20

講師



國學院大學
助教・博士(文学)
おおつ なおこ
大津 直子

専門分野 中古文学

講座内容

昨年度に引き続き、「帚木」巻を講読いたします。「帚木」巻、「空蟬」巻、「夕顔」巻は、若い光源氏の恋のしくじりを描いた三巻であり、古来、帚木三帖と呼ばれています。男たちによる女性論議である雨夜の品定め場面もようやく終盤戦に入り、本年度はいよいよ光源氏が中の品の女性たちを求めて動き出す場面へと入っていきます。最初の女性は、後宮に入内する望みを抱きながらも、心ならず受領(地方官)の後妻となった女性、空蟬です。手折ることが出来そうで出来ないなよ竹のような人妻に、17歳の光源氏は翻弄されてしまうのです。

千年の時間が隔たった平安朝文化は、現代人にとっては異文化であると言って良いほど馴染みがありません。そのため、本講座では貴族たちの生活世界をイメージしていただけるように画像資料を配布いたします。受講者の皆様も、光源氏の暮らした二条院や、藤壺の過ごした宮中を思い描きながら原文を味わっていただけるように努めます。

初回は、「帚木」巻前半のあらすじのふりかえりや、物語全体の構造についてお話しすることから始めます。新規の方も、継続の方もお待ちしております。

4月	13日、27日
5月	11日、25日
6月	8日、22日
7月	13日
9月	14日、28日
10月	12日、26日
11月	9日、23日
12月	7日、21日

■単位数 3単位
■受講料 30,000円

テキスト 資料を配付します

49

『万葉集』の恋歌を楽しむ ー大伴家持の青春時代ー

木曜日
10:45~12:15

講師



新

國學院大學
助教・博士(文学)
鈴木 道代

専門分野 上代文学

講座内容

たまプラーザキャンパスで、本年度から新たに開講される『万葉集』の講座を担当させていただきます。この講座では、家持青春時代の恋の歌を読み解いて参りたいと思います。

家持の越中赴任時代とそれ以降は、女性との恋歌が激減しますが、青春時代には、さまざまな女性たちと交わされた恋の歌で溢れています。恋歌のやりとりでは、反発ややり返し、挑発や同調などを繰り返しながら、いかに相手の歌を引き出すかという、機知と技巧に富んだ歌の世界が展開しています。全10回の講座を通じて、紀女郎、笠女郎、大伴大嬢、名もない娘子など、さまざまな女性との贈答歌を取り上げて、貴族サロンに華開いた恋歌の面白さに迫っていききたいと思います。

家持の青春時代の歌を辿りながら、『万葉集』の豊かな恋歌の世界をご一緒に楽しみましょう。

4月	19日
5月	17日、31日
6月	21日
7月	5日
9月	27日
10月	11日、25日
11月	15日
12月	13日

■単位数 2単位
■受講料 20,000円

テキスト 資料を配付します

50

俳句の楽しみ

木曜日
14:50~16:20

講師



國學院大學
元教授・文学博士
俳誌「天頂」主宰
俳人協会評議員
日本俳人クラブ理事
波戸岡 旭

専門分野 日中比較文学
日本漢文学

講座内容

本講座は、俳句を作りたい人、俳句を作っている人、俳句に関心のある人を対象者として、近・現代の秀句の解説と実作指導(講評・添削)を行います。句作の心得は、「明るく、強く、恥をかく」。このきもちが大事です。

俳句は、身近な文芸であるとともに永遠無窮の文学です。俳句は、「座の文学」ともいいますが、それは仲間をたいせつに、親睦と研鑽をめざすという意味です。奥の深い文学ですが、けっしてむずかしくはありません。句作の心得としてほしいのは、「明るく・強く・恥をかく」ことです。身構えたり、気取ったりでは俳句になりません。すなおな明るいふだんの気持ちが肝腎です。

今年度も、講義(近・現代の秀句の解説)の日と、実作指導の日とを、以下の日程のように分けて行います。

第1回(講義)4月12日	第5回(講義)6月28日	第9回(実作)11月15日
第2回(講義)5月17日	第6回(実作)7月12日	第10回(実作)11月29日
第3回(実作)5月31日	第7回(講義)10月4日	
第4回(実作)6月14日	第8回(実作)10月18日	

4月	12日
5月	17日、31日
6月	14日、28日
7月	12日
10月	4日、18日
11月	15日、29日

■単位数 2単位
■受講料 20,000円

テキスト 資料を配付します

51

漢詩の味わい ー『おくのほそ道』のなかの漢詩の世界ー

木曜日
14:50~16:20

講師



國學院大學
元教授・文学博士
俳誌「天頂」主宰
俳人協会評議員
日本俳人クラブ理事
波戸岡 旭

専門分野 日中比較文学
日本漢文学

講座内容

本講座は、芭蕉の『おくのほそ道』をゆっくりと読み味わいながら、その本文の背景にうかがえる杜甫や李白などの漢詩の世界をていねいに解説します。漢詩の世界をよく味わうことで、いっそう『おくのほそ道』がおもしろくなります。

『おくのほそ道』も漢詩も、声に出していっしょに読むと印象が深まります。本講座では、ゆっくりゆっくり本文を読み進めながら、おりおり立ち止っては、芭蕉が引用している漢詩を、わかりやすく解説します。

また、随時、『唐詩選』『三体詩』からの作品をも鑑賞します。(鑑賞のポイントを具体的に解説します。)

本年度の『おくのほそ道』は、「芦野」から始まります。

5月	10日、24日
6月	7日、21日
7月	5日
9月	27日
10月	11日、25日
11月	8日、22日

■単位数 2単位
■受講料 20,000円

テキスト 『校註おくのほそ道』 鈴木知太郎・伊坂裕次編著 笠間書院 1,200円(本体価格)・資料を配付します

52

『大鏡』を読む - 摂関政治と平安文学史上の有名な人たち -

月曜日

13:05~14:35

講師



國學院大學栃木短期大学教授(学長)・
國學院大學名誉教授・文学博士
なかむら ゆきひろ
中村 幸弘

専門分野 日本語学

講座内容

『大鏡』は、仮名で書かれた最初の歴史書です。エピソードとして楽しめるところを抄出、道長の栄達を追うなかで、敗れ去った花山院や道真に出会いました。鎬を削る政争、権力を手にする人の豪胆さ、その一方で、王朝の優雅な詩歌管弦の文化、それらを併せ読んでまいります。女性たちも登場させました。『古今和歌集』撰者・貫之の娘の、鶯宿梅も配しました。文法用語を用いることなく、文法的に正しく読んでまいります。

- 第1回 三船の誉れ(頼忠)
- 第2回 影を踏まで、面をや踏まぬ(道長)
- 第3回 〈永井路子「この世をば」から〉
- 第4・5回 伊周との競射(道長)
- 第6・7回 女院と道長(道長)
- 第8回 延喜の帝、歌を召す(雑々物語)
- 第9回 鶯宿梅(雑々物語)
- 第10回 巻末(雑々物語)

4月	16日
5月	7日、21日
6月	4日、18日
7月	2日
10月	1日、15日、29日
11月	12日

■単位数 2単位
■受講料 20,000円



テキスト 手造り資料をコピーして配付します。



参考書 新編日本古典文学全集(34)『大鏡』 橘健二・加藤静子 校注・訳 小学館 4,457円(本体価格)

53

芥川龍之介を読む

月曜日

14:50~16:20

講師



國學院大學
兼任講師
あんざい しんじ
安西 晋二

専門分野 近現代日本文学

講座内容

現在でも、作品が教科書教材として採用される芥川龍之介は、誰もが一度は読んだことがある作家でしょう。その代表格である「羅生門」をはじめ、「蜘蛛の糸」や「杜子春」といったの児童向けなど、いまでも多くの読者を惹きつける魅力が、芥川作品にはあるといえます。そこで、本講座では、有名なものから、あまり知られていないと思われるものまで、芥川の短編小説を、幅広く読み進めてみたいと思います。

芥川の小説は、非常に多彩です。そのため、ジャンルを限定してしまうのではなく、児童向け、開化物、キリスト物、王朝物と横断的に読み、また、私小説的と指摘される作品も扱っていきます。さまざまな作品に触れ、意見を交わしながら、各々が、芥川龍之介の魅力を再発見してみようというのが、本講座の目的となります。

- 第1回 「杜子春」
- 第2回 「トロッコ」
- 第3回 「羅生門」
- 第4回 「鼻」
- 第5回 「煙草と悪魔」
- 第6回 「黒衣聖母」
- 第7回 「開化の殺人」
- 第8回 「玄鶴山房」
- 第9回 「歯車①」
- 第10回 「歯車②」

4月	16日
5月	7日、21日
6月	4日、18日
7月	2日
10月	1日、15日
11月	12日、26日

■単位数 2単位
■受講料 20,000円



テキスト 『蜘蛛の糸・杜子春』(2回目まで) 新潮文庫 320円(本体価格)

※そのほか、必要な資料をコピーして配布します。3回目以降は、資料とともに作品もコピーしてお渡します。ただし、対象とする作品は変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

54

健康と運動の心理学 - こころの健康を保つコツ -

火曜日

13:05~14:35

講師



國學院大學
助教
いとう ひでゆき
伊藤 英之

専門分野 スポーツ心理学

新

講座内容

この講座では、「健康」をテーマにどのような運動が心身の健康に効果的なのかということや、こころの健康を保つための考え方、また、ストレスを軽減するためのリラクゼーション技法の体験などを行います。講座は基本的には講義形式で行いますが、たまにワーク(作業)や、その場でできる簡単な運動(動作)も行います。聞いて理解するだけでなく、体験することで、「こころの健康を保つコツ」を深く理解しましょう。

- 第1回 心理学で考える健康
- 第2回 運動が健康に与える恩恵
- 第3回 健康のための認知変容
- 第4回 健康のための行動変容
- 第5回 健康のためのリラクゼーション技法

5月	8日、22日
6月	5日、19日
7月	3日

■単位数 1単位
■受講料 10,000円



テキスト 資料を配付します

**オープン
カレッジ
特別講座**

コーディネーター



國學院大學
教授・博士(宗教学)
副学長
いし い けん じ
石井 研士

専門 宗教学・
分野 宗教社会学

講座内容

私たちはそう遠くないうちに平均寿命100歳を経験することになります。私たち日本人を取り巻く社会的環境は大きく変化しています。「人生を健康で長く、豊かに、幸せにすごしたい」という思いはますます強くなっているように思います。

一方で、生涯独身率は急速に上昇し、家族を形成することなく「一人」で人生を過ごす人が珍しくなくなりました。かつての血縁や地縁とは異なった人間関係の形成が求められています。

今、あらためて誕生から死に至るまでの物語を儀礼文化を通して考えたいと思います。たんなる伝統的な儀礼の復活ではなく、100歳の生涯を豊かに生きていくための「儀式創新」を提唱したいと思います。

第1回	皇室の結婚式～儀式的流れからお料理の献立まで	月刊『皇室』編集長 伊豆野 誠
第2回	若者の意識 ー恋愛事情から結婚観までー	(株)ニッセイ基礎研究所 久我 尚子
第3回	葬儀におけるさまざまな儀礼の意味	国立歴史民俗博物館 民俗研究系 准教授 山田 慎也
第4回	現代日本にみる死生観の変化	東北大学 総長特命教授 鈴木 岩弓
第5回	ライフ・シフト ー人生百年の儀礼構想ー	國學院大學教授 副学長 石井 研士

5月	18日
6月	15日
7月	13日
10月	19日
11月	16日

■単位数 なし
■受講料 10,000円

テキスト 資料を配付します

●國學院大學萬葉の花の会

平成5年、横浜たまプラーザキャンパスに、國學院大學教職員有志が、約150種の萬葉集ゆかりの植物を植栽して、「萬葉の小径」を開いたしました。植物を通して「萬葉集」に親しみ、「萬葉集」を通して日本の自然や文化を理解するため、広く一般の方々を対象に年1回、公開講座を開催しています。

開催時期 ■ 9月初旬

会場 ■ 國學院大學 横浜たまプラーザキャンパス
(予定・詳細は、毎年7月頃決定となります)

会費 ■ ※資料代・通信費を含む。会費は変更になる場合があります。

1,500円(学生1,000円)

萬葉弁当代 ■ 萬葉弁当代 ※申込時の事前受付のみ 1,000円

問合せ先

萬葉の花の会 幹事 大久保 規志
(國學院大學 神道研修事務課内)

TEL 03-5466-0892 FAX 03-5466-0163

発行物 ■ 萬葉の花ごよみ(カレンダー)

「萬葉の花の会」オリジナルカレンダーです。
萬葉の花が、12か月分12種類、季節ごとに鮮やかな写真で掲載されていますまた、各月ごとに写真と関連した歌が添えられています。
毎年12月頃発行
※予約販売のみ(「萬葉の花の会」開催時に、予約を受け付けております)



植物で見る 万葉の世界(書籍)

万葉植物155種類を、季節ごとに分類し、それぞれに関わる歌と共にご紹介しています。
國學院大學 渋谷ならびに横浜たまプラーザ両キャンパスの生協にて、取り扱っております。
(一般書店等ではお取り扱いしておりません)

エクステンションセンターが主催する公開講座のご紹介

公開古典講座

『源氏物語』…『夕霧』巻を読む(予定)

『萬葉集』…『巻十二』を読む(予定)

昭和初期に開講した「萬葉講座」の流れを受け継ぎ、「古典文学の國學院」ならではの伝統に根ざした内容の夏季短期集中講座として受講者から強い支持を受けています。

本年度は、午前中に「源氏物語」、午後「萬葉集」の講座を開講いたします。

開催日 ■ 平成30年7月18日(水)～22日(日) (5日間集中講座)

会場 ■ 渋谷キャンパス

受講料 ■ 「萬葉集」「源氏物語」各講座とも 1日2,000円 4日以上は8,000円

◎オープンカレッジ会員は各講座5日間連続受講の場合5,000円

伝統文化に学ぶ講座 〈大阪〉〈東京〉

昭和25年に文部省の後援のもと、主に華道関係者の教養を高める目的で「華道学術講座」として開設し、昭和33年からは大阪市内においても開講しています。平成13年度から内容を古典文学・民俗学など伝統文化に関するものに拡大したのに伴い、名称を「伝統文化に学ぶ講座」に改め、華道関係者をはじめとする多くの方々の受講を得ています。

開催日 ■ <大阪>平成30年7月15日(日) <東京>平成30年7月29日(日)

会場 ■ <大阪>ホテルアウィーナ大阪 <東京>渋谷キャンパス

受講料 ■ 大阪・東京とも 3,000円

たまプラーザキャンパス公開講座(教養講座)

たまプラーザキャンパスが開校した昭和60年から毎年9月中旬に開催。地元横浜市をはじめ田園都市線沿線の地域住民の生涯学習に対するニーズを背景に、地域に根付いた教養講座として今ではすっかり定着しています。

開催日 ■ 平成30年9月12日(水)～14日(金) (3日間連続講座)

会場 ■ たまプラーザキャンパス

受講料 ■ 500円(資料代等実費)



詳細は、各講座とも6月中旬以降にお問い合わせください。

オープンカレッジご受講の方には、各講座リーフレットが出来上がり次第お送りいたします。

問合せ先 エクステンションセンター

TEL 03-5466-0270 FAX 03-5466-0528

e-mail jigyoun@kokugakuin.ac.jp ホームページ <http://www.kokugakuin.ac.jp>

國學院大學博物館のご紹介

國學院大學博物館は、國學院大學が有する数々の学術資料や研究成果を発信する施設です。館内は、考古、神道、校史の3つの展示ゾーンと、さまざまなテーマによる研究成果を公開するための企画展示室で構成されています。展示場の総面積は約1600平米、およそテニスコート6面分の広さがあります。年間5～6回の企画展・特別展を開催しており、ミュージアムトークやワークショップも随時開催しています。

開館時間 ■ 午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)

開館日 ■ 通年(土・日・祝含む)

休館日 ■ 不定期(館内保守及び大学の定める休日)

※博物館ウェブサイトの開館カレンダーでご確認ください。

入館料 ■ 無料

問合せ先 ■ TEL : 03-5466-0359 URL : <http://museum.kokugakuin.ac.jp/>



國學院大學オープンカレッジ申し込み方法

受ける講座を決める

FAXの場合

受講申込書 (FAX用) に記入

ハガキの場合

受講申込書 (ハガキ) に記入

- 新規の方 → 入会金
- 更新の方 → 更新料 (更新が必要な方は封筒に記載してあります)
- 受講料 → 会員区分ごとに違うので29ページで確認して記入

FAXの場合

受講申込書 (FAX用) を、エクステンションセンター宛にFAX (払込取扱票は切り離さない)

ハガキの場合

受講申込書 (ハガキ) に切手と個人情報保護シールを貼り発送

添付書類の提出が必要な方は同送

締切 3/23 (金)

受講申込書 (FAX用) の下半分 (払込取扱票) を切り取り、郵便局で振込 (手数料は自己負担)

受講許可証受領

順次エクステンションセンターより発送

受講

受講初日、指定された会場へ

→ 全講座先着順です。

- ◆定員のある講座について、定員超過で受講できない場合はご連絡を致します。
- ◆後期開講講座もお申し込みいただけます。

→ FAXまたはハガキでお申し込みください。

各講座内容の
ページで確認

更新は4年に1度です。
該当の方は封筒に記載
してあります。

会員区分一覧表

会員区分	所 属	受講料	入会金	更新料	添付書類
1	一般	全 額	¥5,000	¥3,000	
2	本学の科目等履修生	全 額	¥3,000	¥3,000	科目等履修生証の写し ※毎年度提出
3	本学の卒業生	全 額	¥3,000	¥2,000	
4	若木育成会会員	半 額	¥3,000	¥3,000	学生証の写し等 ※毎年度提出
5	本学学部・大学院学生・法人教職員	半 額	無 料	無 料	学生証の写し・他 ※毎年度提出
6	渋谷区・横浜市青葉区在住者	半 額	¥5,000	¥3,000	在住を証明するもの (免許証・健康保険証等の写し) ※入会時・更新時に提出
7	他校の学生(高校・大学・大学院)	半 額	¥3,000	¥3,000	学生証の写し ※毎年度提出

- ◆会員区分の併用はできません。
- ◆特別講座「儀式創新 ー過去から学ぶ現代の潮流ー」のみご受講の方は入会金・更新料ともに必要ありません。
- ◆会員期間(4年間)が経過した後、受講を再開される方は更新扱いになります(入会金は必要ありません)。
- ◆会員区分6の方が居住の区から転出される場合は、必ずエクステンションセンターにご連絡下さい。

**FAXの方…払込取扱票は切り離さず送信してください。切り離すと個人の
識別ができません。**

- ◆FAXの到着確認・入金の確認連絡は致しておりません。
- ◆大学が入金を確認した時点で申込完了です。
- ◆3月中旬受講許可証が到着するまでお待ちください(受講許可証の契印は廃止致しました)。
- ◆新規・更新の方の会員証は、受講許可証とともにお送りします。

申込記入例

全て記入し、FAXしてから郵便局に行ってください。

國學院大學 オープンカレッジ受講申込書 (FAX用)

受付	入力	入金	備考

希望講座名 申込日：平成 年 月 日

講座番号	講座名	受講料
05	大人のための万葉集	10,000円
31	漢字(五)	20,000円
32	漢字(六)	20,000円
		円
		円

新規ご入会の方 ➡

今回更新の方 ➡

入会金	円
更新料	円
合計	50,000円

※入会金・更新料は、P29「会員区分一覧」でご確認ください

●新規ご入会の方で、ご紹介者(オープンカレッジ現会員)がいいらっしゃる場合ご記入をお願いします

紹介者氏名	紹介者 会員番号								
-------	-------------	--	--	--	--	--	--	--	--

- このページを切り取り、添付書類と共に直接FAXしてください。*払込取扱票切取前にFAXしてください。FAXで申し込まれた方は、巻末のはがきを送る必要はありません。
- 受講申込書受理の連絡はいたしませんので、申し込み後直ちに受講料等をお振込ください。
- 申し込みの手順はP28, 29「申し込み方法」をご覧ください。

FAX 03-5466-0528

下半分を切り離す前にFAXしてください

入会金は新規の方のみです。更新は4年に1度です。両方かかることはありません。会員番号をお持ちの方は、期限が切れていても更新扱となります。

紹介者がいらっしゃる場合はご記入ください。

下半分を切り取らずにFAXしてください。表と裏を確認してください。会員区分1・3以外の方は添付書類もFAXしてください。

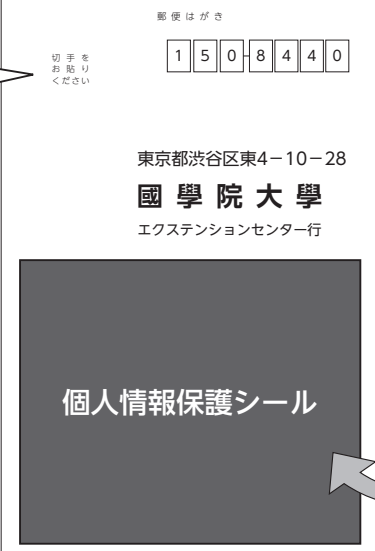
オープンカレッジ会員の方は会員番号(8桁)を記入、新規の方は新規に○を付けてください。

急な連絡のために必要となりますので携帯電話をお持ちの方は併せてご記入ください。

保険の手続が必要なためご記入ください。

00 東京		払込取扱票		振替払込請求書兼受領証											
口座記号番号	金額	千	百	十	万	千	百	十	円						
001605603401	¥53000														
加入者名	料	金	備	考	口座記号番号	加入者名	金額	千	百	十	万	千	百	十	円
國學院大學エクステンションセンター					603401	國學院大學エクステンションセンター	¥53000								
※オープンカレッジ	会員番号	新規	17	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	会員区分	1	2	3	4	5	6	7							
〒150-xxxx	住所	東京都渋谷区x町1丁目○○番地													
フリガナ	コナガタ	タロウ	氏名 國學 太郎												
TEL	03-xxxx-xxxx (090-xxxx-xxxx)														
生年月日	大正・昭和・平成		年	月	日	生									

切手を貼って投函してください



個人情報保護シール

必要事項をお書きになりましたら、添付のシールをはがし、はがき宛名面の個人情報欄に貼ってください。
※シールは1度貼ると貼り直しできません。



國學院大學 オープンカレッジ受講申込書 (FAX用)

受付	入力	入金	備考

希望講座名

申込日：平成 年 月 日

講座番号	講座名	受講料
		円
		円
		円
		円
		円

新規ご入会の方 ➡

今回更新の方 ➡

※入会金・更新料は、P29「会員区分一覧」でご確認ください

入会金	円
更新料	円
合計	円

●新規ご入会の方で、ご紹介者(オープンカレッジ現会員)がいいらっしゃる場合ご記入をお願いします

紹介者氏名		紹介者 会員番号							
-------	--	-------------	--	--	--	--	--	--	--

- このページを切り取り、添付書類と共に直接FAXしてください。 *払込取扱票切取前にFAXしてください。FAXで申し込まれた方は、巻末のはがきを送る必要はありません。
- 受講申込書受理の連絡はいたしませんので、申し込み後直ちに受講料等をお振込ください。
- 申し込みの手順はP28, 29「申し込み方法」をご覧ください。

FAX 03-5466-0528

下半分を切り離す前にFAXしてください

00	東京	払込取扱票																	
口座記号番号											金額	千	百	十	万	千	百	十	円
0	0	1	6	0	5	6	0	3	4	0	1	*							
加入者名 國學院大學エクステンションセンター											料金	備考							
※ オープンカレッジ																			
ご依頼人 会員番号											会員区分								
新規											1・2・3・4・5・6・7								
〒																			
住所																			
フリガナ																			
氏名																			
TEL																			
生年月日											大正・昭和・平成 年 月 日生								
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)(承認番号東第55517号)																			
これより下部には何も記入しないでください。																			

各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。

切り取らないでお出しください。

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	0	0	1	6	0	5		
加入者名	國學院大學エクステンションセンター							
金額	千	百	十	万	千	百	十	円
ご依頼人	おなまえ							
	様							
料金	(消費税込み) 日 附 印							
	円							
備考								

この受領証は、大切に保管してください。

下を切り離さずFAXしてください。

表と裏の向き (送信面) は合っていますか？

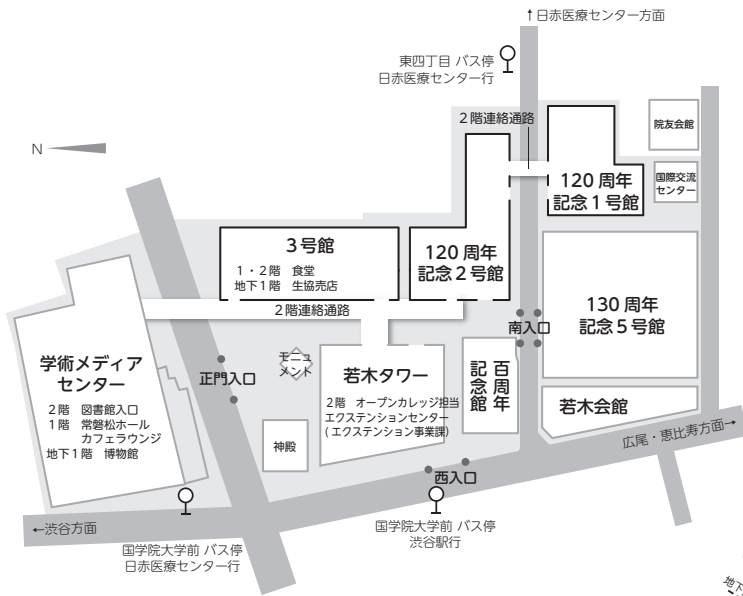
(ご注意)

- ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
- ・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになる場合は、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
- ・この用紙による、払込料金は、ご依頼様が負担することとなります。
- ・ご依頼様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。



この場所には、何も記載しないでください。

渋谷キャンパス



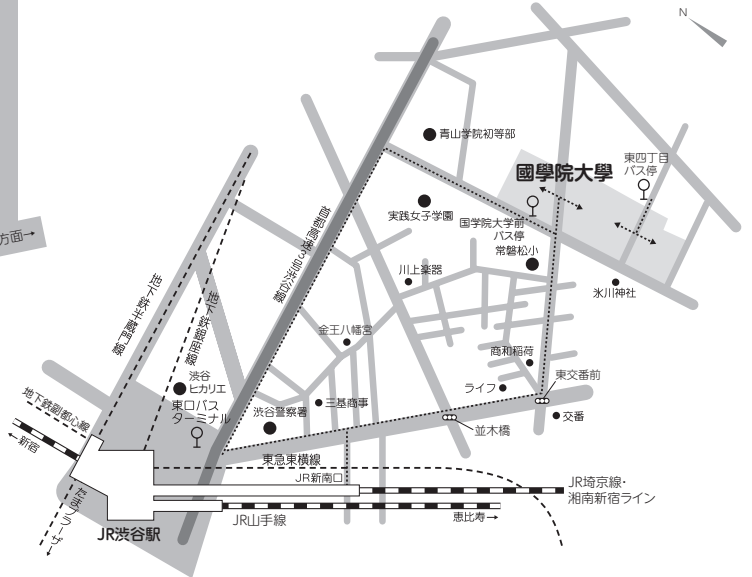
案内図

所在地

●〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28

交通アクセス

- 渋谷駅(JR山手線・地下鉄・京王井の頭線・東急各線)から徒歩約13分
- 渋谷駅(JR埼京線・湘南新宿ライン) 新南口から徒歩約10分
- 都営バス(渋谷駅東口54番のりば) 学03日赤医療センター行「国学院大学前」または「東四丁目」下車(運賃180円) IC175円



たまプラーザキャンパス

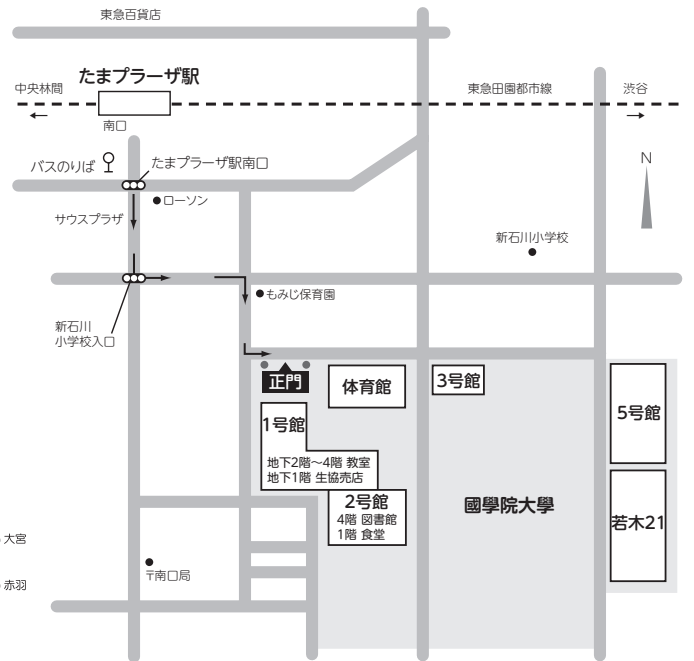
案内図

所在地

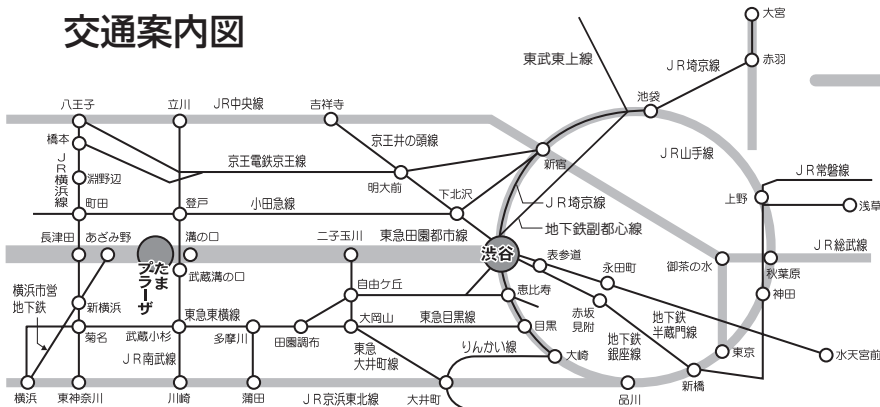
●〒225-0003 神奈川県横浜市青葉区新石川3-22-1

交通アクセス

- 渋谷駅から東急田園都市線たまプラーザ駅まで約25分
- 横浜駅から市営地下鉄ブルーライン終点あざみ野駅で東急田園都市線(渋谷方面行)に乗換え、たまプラーザ駅まで約30分
- たまプラーザ駅・南口から徒歩約5分



交通案内図



エクステンションセンター

〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28

T E L 03-5466-0270

F A X 03-5466-0528

U R L <http://www.kokugakuin.ac.jp>

e-mail jjgyou@kokugakuin.ac.jp

もっと日本を。もっと世界へ。



國學院大學